

【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	平成28年7月8日提出
【発行者名】	岡三アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 金井 政則
【本店の所在の場所】	東京都中央区八重洲二丁目8番1号
【事務連絡者氏名】	二宮 淳恵
【電話番号】	03-3516-1432
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（1年決算型）
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券の金額】	継続募集額(平成28年1月9日から平成29年1月6日まで) 5,000億円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

本日、半期報告書を提出しましたので、平成28年 1月 8日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の関係情報を新たな情報に訂正するため、またその他の情報について訂正すべき事項がありますので、本訂正届出書を提出するものです。

2【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部_____は訂正部分を示し、<更新後>に記載している内容は原届出書が更新されます。

なお、「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 5 運用状況」は原届出書の更新後の内容を記載しています。

また、原届出書の「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況 1 財務諸表」に「中間財務諸表」の記載事項が追加され、2 ファンドの現況が更新されます。

第一部【証券情報】

(6)【申込単位】

<訂正前>

販売会社が定める単位とします。詳細につきましては、販売会社にご確認ください。

<訂正後>

販売会社が定める単位とします。詳細につきましては、販売会社にご確認下さい。

お問い合わせ先については、(4) [発行(売出)価格]に記載されているお問い合わせ先をご覧下さい。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(1)【ファンドの目的及び基本的性格】

<更新後>

ファンドの目的

ファンドは、アジア（日本を除く）・オセアニア地域の株式を実質的な主要投資対象とする「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）」及びわが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とする「日本マネー・マザーファンド」の各投資信託証券を主要投資対象とし、安定的な収益の確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

信託金の限度額

委託会社は、受託会社と合意のうえ、金5,000億円を限度として信託金を追加することができます。委託会社は、受託会社と合意のうえ、この限度額を変更することができます。

ファンドの商品分類

ファンドは、一般社団法人投資信託協会が定める商品分類において、以下のとおりに分類されます。

商品分類表（ファンドが該当する商品分類を網掛け表示しています。）

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
単位型	国内	株式 債券
追加型	海外	不動産投信
	内外	その他資産 () 資産複合

属性区分表（ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。）

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ

株式 一般 大型株 中小型株	年1回	グローバル		
	年2回	日本		
	年4回	北米		
債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 ()	年6回 (隔月)	欧州	ファミリーファ ンド	あり ()
	年12回 (毎月)	アジア		
	日々	オセアニア		
不動産投信	日々	中南米		なし
その他資産 (投資信託証券(株 式・一般))	その他 ()	アフリカ	ファンド・オ ブ・ファンズ	
		中近東 (中東)		
資産複合 () 資産配分固定型 資産配分変更型		エマージング		

ファンドは、投資信託証券を主要投資対象とするファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行うため、属性区分におけるファンドの投資対象資産は、「その他資産（投資信託証券）」となり、商品分類における投資対象資産（収益の源泉）である「株式」とは分類・区分が異なります。

属性区分表に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

商品分類および属性区分の定義につきましては、下記をご覧ください。なお、一般社団法人投資信託協会のホームページ（<http://www.toushin.or.jp/>）でもご覧いただけます。

一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類および属性区分は以下のとおりです。

[商品分類表の定義]

《単位型投信・追加型投信の区分》

- (1) 単位型投信...当初、募集された資金が一つの単位として信託され、その後の追加設定は一切行われないファンドをいう。
- (2) 追加型投信...一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいう。

《投資対象地域による区分》

- (1) 国内...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (2) 海外...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (3) 内外...目論見書又は投資信託約款において、国内及び海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。

《投資対象資産による区分》

- (1) 株式...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (2) 債券...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいう。

- (3) 不動産投信（リート）...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券及び不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (4) その他資産...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に上記（1）から（3）に掲げる資産以外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。なお、その他資産と併記して具体的な収益の源泉となる資産の名称記載も可とする。
- (5) 資産複合...目論見書又は投資信託約款において、上記（1）から（4）に掲げる資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。

《独立した区分》

- (1) MMF（マネー・マネージメント・ファンド）...「MMF等の運営に関する規則」に定めるMMFをいう。
- (2) MRF（マネー・リザーブ・ファンド）...「MMF等の運営に関する規則」に定めるMRFをいう。
- (3) ETF...投資信託及び投資法人に関する法律施行令（平成12年政令480号）第12条第1号及び第2号に規定する証券投資信託並びに租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第9条の4の2に規定する上場証券投資信託をいう。

《補足分類》

- (1) インデックス型...目論見書又は投資信託約款において、各種指数に連動する運用成果を目指す旨の記載があるものをいう。
- (2) 特殊型...目論見書又は投資信託約款において、投資者に対して注意を喚起することが必要と思われる特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいう。なお、[属性区分表の定義]で《特殊型》の小分類において「条件付運用型」に該当する場合には当該小分類を括弧書きで付記するものとし、それ以外の小分類に該当する場合には当該小分類を括弧書きで付記できるものとする。

[属性区分表の定義]

《投資対象資産による属性区分》

- (1) 株式
- 一般・・・次の大型株、中小型株属性にあてはまらないすべてのものをいう。
- 大型株・・・目論見書又は投資信託約款において、主として大型株に投資する旨の記載があるものをいう。
- 中小型株・・・目論見書又は投資信託約款において、主として中小型株に投資する旨の記載があるものをいう。
- (2) 債券
- 一般・・・次の公債、社債、その他債券属性にあてはまらないすべてのものをいう。
- 公債・・・目論見書又は投資信託約款において、日本国又は各国の政府の発行する国債（地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債を含む。以下同じ。）に主として投資する旨の記載があるものをいう。
- 社債・・・目論見書又は投資信託約款において、企業等が発行する社債に主として投資する旨の記載があるものをいう。
- その他債券・・・目論見書又は投資信託約款において、公債又は社債以外の債券に主として投資する旨の記載があるものをいう。
- 格付等クレジットによる属性・・・目論見書又は投資信託約款において、上記 から の「発行体」による区分のほか、特にクレジットに対して明確な記載があるものについては、上記 から に掲げる区分に加え「高格付債」「低格付債」等を併記することも可とする。
- (3) 不動産投信・・・これ以上の詳細な分類は行わないものとする。
- (4) その他資産・・・組入れている資産を記載するものとする。
- (5) 資産複合・・・以下の小分類に該当する場合には当該小分類を併記することができる。
- 資産配分固定型・・・目論見書又は投資信託約款において、複数資産を投資対象とし、組入比率については固定的とする旨の記載があるものをいう。なお、組み合わせている資産を列挙するものとする。
- 資産配分変更型・・・目論見書又は投資信託約款において、複数資産を投資対象とし、組入比率については、機動的な変更を行なう旨の記載があるもの若し

くは固定的とする旨の記載がないものをいう。なお、組み合わせている資産を列挙するものとする。

《決算頻度による属性区分》

- (1) 年1回・・・目論見書又は投資信託約款において、年1回決算する旨の記載があるものをいう。
- (2) 年2回・・・目論見書又は投資信託約款において、年2回決算する旨の記載があるものをいう。
- (3) 年4回・・・目論見書又は投資信託約款において、年4回決算する旨の記載があるものをいう。
- (4) 年6回(隔月)・・・目論見書又は投資信託約款において、年6回決算する旨の記載があるものをいう。
- (5) 年12回(毎月)・・・目論見書又は投資信託約款において、年12回(毎月)決算する旨の記載があるものをいう。
- (6) 日々・・・目論見書又は投資信託約款において、日々決算する旨の記載があるものをいう。
- (7) その他・・・上記属性にあてはまらないすべてのものをいう。

《投資対象地域による属性区分(重複使用可能)》

- (1) グローバル・・・目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。なお、「世界の資産」の中に「日本」を含むか含まないかを明確に記載するものとする。
- (2) 日本・・・目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (3) 北米・・・目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が北米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (4) 欧州・・・目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が欧州地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (5) アジア・・・目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本を除くアジア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (6) オセアニア・・・目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益がオセアニア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (7) 中南米・・・目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が中南米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (8) アフリカ・・・目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益がアフリカ地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (9) 中近東(中東)・・・目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が中近東地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (10) エマージング・・・目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益がエマージング地域(新興成長国(地域))の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

《投資形態による属性区分》

- (1) ファミリーファンド・・・目論見書又は投資信託約款において、親投資信託(ファンド・オブ・ファンズ)のみ投資されるものを除く。)を投資対象として投資するものをいう。
- (2) ファンド・オブ・ファンズ・・・「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズをいう。

《為替ヘッジによる属性区分》

- (1) 為替ヘッジあり・・・目論見書又は投資信託約款において、為替のフルヘッジ又は一部の資産に為替のヘッジを行う旨の記載があるものをいう。
- (2) 為替ヘッジなし・・・目論見書又は投資信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるもの又は為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいう。

《インデックスファンドにおける対象インデックスによる属性区分》

- (1) 日経225
- (2) TOPIX
- (3) その他の指数・・・上記指数にあてはまらないすべてのものをいう。

《特殊型》

- (1) プル・ベア型...目論見書又は投資信託約款において、派生商品をヘッジ目的以外に用い、積極的に投資を行うとともに各種指数・資産等への連動若しくは逆連動（一定倍の連動若しくは逆連動を含む。）を目指す旨の記載があるものをいう。
- (2) 条件付運用型...目論見書又は投資信託約款において、仕組債への投資又はその他特殊な仕組みを用いることにより、目標とする投資成果（基準価額、償還価額、収益分配金等）や信託終了日等が、明示的な指標等の値により定められる一定の条件によって決定される旨の記載があるものをいう。
- (3) ロング・ショート型 / 絶対収益追求型...目論見書又は投資信託約款において、特定の市場に左右されにくい収益の追求を目指す旨若しくはロング・ショート戦略により収益の追求を目指す旨の記載があるものをいう。
- (4) その他型...目論見書又は投資信託約款において、上記(1)から(3)に掲げる属性のいずれにも該当しない特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいう。

ファンドの特色



日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に 実質的に投資します。

- 中長期的な成長が期待される地域の株式に投資することにより、値上がり益の獲得を目指します。

日本を除くアジア・オセアニア地域の株式とは…
MSCIオール・カントリー・アジア・パシフィック指数（除く日本）の採用国および地域の株式です。

<投資対象国・地域>



香港



台湾



韓国



マレーシア



シンガポール



タイ



インド



インドネシア



フィリピン



中国



オーストラリア



ニュージーランド

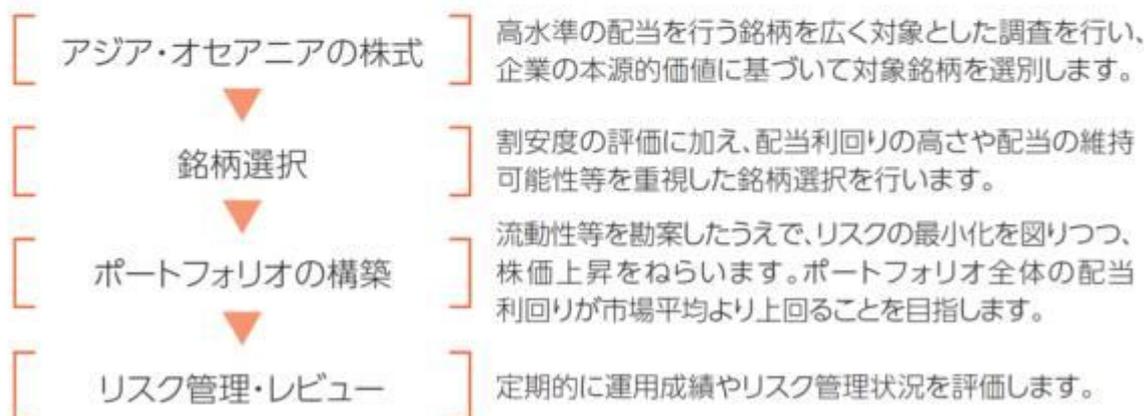
すべての投資対象国および地域に投資するとは限りません。今後変更される場合があります(平成28年4月末現在)。



2 実質的に、好配当の銘柄を中心に投資します。

- 高水準の配当収入の確保を目指すとともに、収益性、成長性などから株価の上昇が期待できる銘柄に投資します。
- イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド(適格機関投資家専用)への投資を通じて運用を行います。

イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド (適格機関投資家専用)の運用プロセス



※上記運用プロセスは今後変更される場合があります。

- 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。



3 年1回決算を行います。

- 毎年10月10日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。
 - ・ 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、日本マネー・マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。
 - ・ 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。
 - ・ 収益分配に充てなかった留保益については、運用の基本方針と同一の運用を行います。
- ※将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。

※資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

< 訂正前 >

(略)

委託会社の概況（平成27年10月末日現在）

(略)

< 訂正後 >

(略)

委託会社の概況（平成28年4月末日現在）

(略)

2【投資方針】

(2)【投資対象】

< 訂正前 >

(略)

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社およびイーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール)リミテッドについて

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社は、運用会社として「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド(適格機関投資家専用)」の投資信託財産の運用指図等の業務を行っております。同ファンドの親投資信託である「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド」については、運用指図に関する権限をイーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール)リミテッドに委託しています。

※イーストスプリング・インベストメンツ株式会社およびイーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール)リミテッドは、英国ブルーデンシャル社(以下「最終親会社」)の间接子会社です。最終親会社は165年以上の歴史を有し、英国、米国、アジアをはじめとした世界各国で業務を展開しています。最終親会社グループはいち早くアジアの成長性に着目し、2015年10月末日現在、アジアでは14の国や地域で生命保険および資産運用を中心に金融サービスを提供しています。その運用資産総額は、2015年6月末日現在、約5,050億英ポンド(約97兆円、1英ポンド=192.72円)に上ります。なお、最終親会社、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社およびイーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール)リミテッドは、主に米国で事業を展開しているプルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

日本マネー・マザーファンド

委託会社	岡三アセットマネジメント株式会社
基本方針	安定した収益の確保を図ることを目的として安定運用を行います。
投資対象	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資態度	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として安定運用を行います。 邦貨建資産の組入れにあたっては、取得時において信用格付業者等から第二位（A-2格相当）以上の格付けを得ており、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
主要な投資制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

決算	毎年10月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行います。 投資信託財産から生ずる利益は、信託終了時まで投資信託財産中に留保し、期中には分配を行いません。
信託報酬	ありません。
その他	・デリバティブ取引等に係る投資制限 デリバティブ取引等については、一般社団法人投資信託協会規則の定めるところに従い、合理的な方法により算出した額が投資信託財産の純資産総額を超えないものとします。

< 訂正後 >

(略)

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社およびイーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール)リミテッドについて

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社は、運用会社として「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド(適格機関投資家専用)」の投資信託財産の運用指図等の業務を行っております。同ファンドの親投資信託である「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド」については、運用指図に関する権限をイーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール)リミテッドに委託しています。

※イーストスプリング・インベストメンツ株式会社およびイーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール)リミテッドは、英国プルデンシャル社(以下「最終親会社」)の间接子会社です。最終親会社は165年以上の歴史を有し、英国、米国、アジアをはじめとした世界各国で業務を展開しています。最終親会社グループはいち早くアジアの成長性に着目し、2016年4月末現在、アジアでは14の国や地域で生命保険および資産運用を中心に金融サービスを提供しています。その運用資産総額は、2015年12月末現在、約5,090億英ポンド(約90兆円、1英ポンド=178.78円)に上ります。なお、最終親会社、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社およびイーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール)リミテッドは、主に米国で事業を展開しているプルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

日本マネー・マザーファンド

委託会社	岡三アセットマネジメント株式会社
基本方針	安定した収益の確保を図ることを目的として安定運用を行います。
投資対象	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資態度	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として安定運用を行います。 邦貨建資産の組入れにあたっては、取得時において信用格付業者等から第二位（A-2格相当）以上の格付けを得ており、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
主要な投資制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

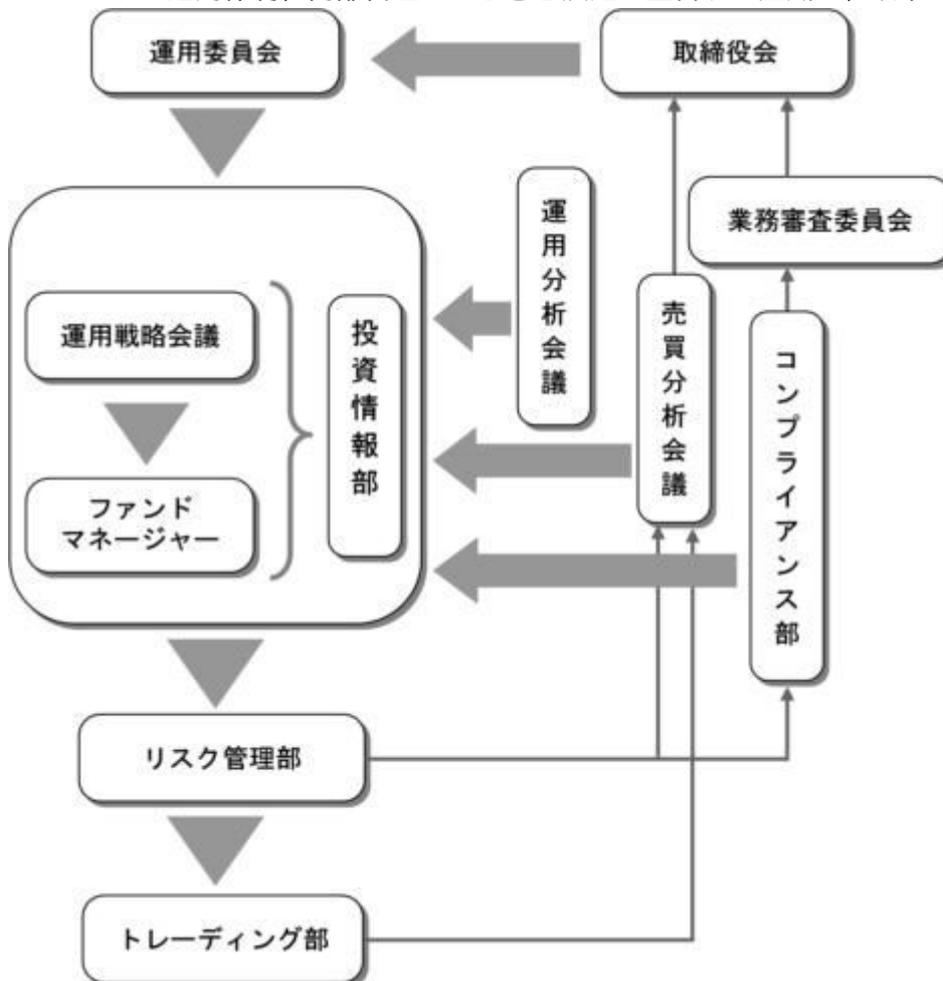
決算	毎年10月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行います。 投資信託財産から生ずる利益は、信託終了時まで投資信託財産中に留保し、期中には分配を行いません。
信託報酬	ありません。
その他	・デリバティブ取引等に係る投資制限 デリバティブ取引等については、一般社団法人投資信託協会規則の定めるところに従い、合理的な方法により算出した額が投資信託財産の純資産総額を超えないものとしします。

（３）【運用体制】

<更新後>

運用体制、内部管理および意思決定を監督する組織

ファンドの運用体制、内部管理および意思決定を監督する組織は、以下のようになります。



会議名または部署名	役割
運用委員会 （月1回開催）	運用本部で開催する「ストラテジー会議」で策定された投資環境分析と運用の基本方針案に基づいて検討を行い、運用の基本方針を決定します。また、運用に関する内規の制定及び改廃のほか、運用ガイドライン等運用のリスク管理に関する事項を決定します。
運用戦略会議 （月1回開催）	運用各部署より運用委員会で決定された運用の基本方針に基づいた個別ファンドの具体的な投資戦略が報告され、その内容について検討を行います。

運用担当部署	ファンドマネージャーは、運用戦略会議で検討された投資戦略に基づき、ファンド毎に具体的な運用計画を策定し、運用計画書・運用実施計画に基づいて、運用の指図を行います。
投資情報部	国内外のマクロ経済・セミマクロ経済の調査・分析、市場環境の分析等をもとに、ファンドマネージャーに情報提供を行うことで、運用をサポートします。また、投資者に経済情勢等に関するタイムリーな情報を発信します。
運用分析会議 （月1回開催）	運用のパフォーマンス向上、運用の適正性の確保、および運用のリスク管理に資することを目的に、個別ファンドの運用パフォーマンスを分析・検証・評価し、運用本部にフィードバックを行います。
売買分析会議 （月1回開催）	運用財産に係る運用の適切性確保に資することを目的にファンドの有価証券売買状況や組入れ状況など、日々、リスク管理部、トレーディング部が行っている運用の指図に関するチェック状況の報告・指摘を行います。議長は会議の結果を取締役会へ報告します。
業務審査委員会 （原則月1回開催）	運用の指図において発生した事務処理ミスや社内規程等に抵触した事項などについて、審議・検討を行います。委員長は審議・検討結果を取締役会へ報告します。
コンプライアンス部 （3名程度）	運用業務にかかわる関係法令及び社内諸規則等の遵守状況の検証並びに検証に基づく運用本部への指導を行います。
リスク管理部 （6名程度）	「運用の指図に関する検証規程」に基づき、投資信託財産の運用の指図につき、法令諸規則等に定める運用の指図に関する事項の遵守状況の確認を行います。発注前の検証として、発注内容が法令諸規則等に照らして適当であるのか伝票又はオーダー・マネジメント・システムのコンプライアンスチェック機能を利用して確認を行い、発注後の検証として、運用指図結果の適法性又は適正性について確認を行います。
トレーディング部 （7名程度）	有価証券、デリバティブ取引に係る権利等の発注に関し、法令諸規則等に基づいて最良執行に努めています。また、運用指図の結果について最良執行の観点からの検証・分析を行います。

社内規程

委託会社では、ファンドの運用に関する社内規程において、運用を行うに当たって遵守すべき事項等を定め、ファンドの商品性に則った適切な運用を行っています。

また、委託会社では、リスク管理規程において、運用に関するリスク管理方針を定め、運用本部及び運用本部から独立した部署が、運用の指図について運用の基本方針や法令諸規則等に照らして適切かどうかのモニタリング・検証を通じて、運用リスクの管理を行っています。

ファンドの関係法人（販売会社を除く）に対する管理体制等

「受託会社」または「再信託受託会社」に対しては、日々の基準価額および純資産照合、月次の勘定残高照合などを行っております。

委託会社は、他の運用会社が運用の指図を行う投資対象ファンドについて、ファンド運営の適切性、運用の継続性等を確認したうえで投資を行うとともに、運用成績等に関するモニタリングを行っています。

運用体制等につきましては、平成28年4月末日現在のものであり、変更になることがあります。

3【投資リスク】

（参考情報）

<更新後>

(参考情報)

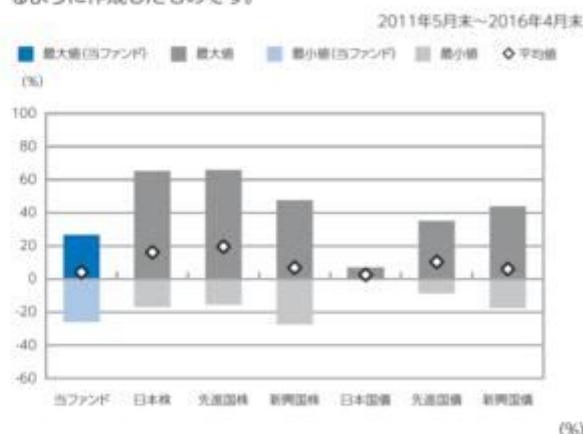
ファンドの年間騰落率及び分配金再投資基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。設定日前日を10,000として指数化し、設定日の属する月末より表示しております。
- 年間騰落率は、2014年9月から2016年4月の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

グラフは、ファンドと代表的な資産のリスクを定量的に比較できるように作成したものです。



当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	26.5	65.0	65.7	47.4	6.7	34.9
最小値	△26.1	△17.0	△15.6	△27.4	0.4	△8.6
平均値	4.1	16.1	19.5	6.8	2.5	10.3

- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 2011年5月から2016年4月の5年間(当ファンドは2014年9月から2016年4月)の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- 決算日に対応した数値とは異なります。
- 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
 先進国株・・・MSCI-KOKUSAIインデックス(配当込み、円ベース)
 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
 日本国債・・・NOMURA-BPI国債
 先進国債・・・シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし、円ベース)
 新興国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)
 (注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

MSCI-KOKUSAIインデックス(配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAIインデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし、円ベース)

シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし、円ベース)は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

4【手数料等及び税金】

(5)【課税上の取扱い】

<更新後>

ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度、未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。

個人受益者に対する課税

収益分配金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金は、配当所得として、以下の税率による源泉徴収が行われます。確定申告は不要ですが、確定申告による総合課税または申告分離課税のいずれかを選択することもできます。

償還金および解約金に対する課税

償還価額および解約価額から取得費（申込手数料および申込手数料に係る消費税等相当額を含みます。）を控除した利益は、譲渡所得となり、以下の税率による申告分離課税が適用されます。ただし、特定口座（源泉徴収選択口座）をご利用の場合には、原則として確定申告は不要です。

償還時および解約時の差損（譲渡損失）については、確定申告等により、上場株式等の譲渡益と相殺することができ、申告分離課税を選択した上場株式等の配当所得との損益通算も可能です。

償還時および解約時の差益（譲渡益）については、他の上場株式等の譲渡損と相殺することができ、損益通算が可能となります。

また、特定公社債等（公募公社債投資信託を含みます。）の利子所得および譲渡所得等との損益通算も可能です。

平成49年12月31日までは、復興特別所得税（所得税額×2.1%相当額）がかかります。

期間	税率
平成26年1月1日以降 平成49年12月31日まで	20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）
平成50年1月1日以降	20%（所得税15%、地方税5%）

法人受益者に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに償還時及び解約時の個別元本超過額については、以下の税率による源泉徴収が行われます。なお、地方税の源泉徴収はありません。

平成49年12月31日までは、復興特別所得税（所得税額×2.1%相当額）がかかります。

期間	税率
平成26年1月1日以降 平成49年12月31日まで	15.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%）
平成50年1月1日以降	15%（所得税15%）

普通分配金、元本払戻金（特別分配金）とは

収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。

基準価額（分配落）が受益者の個別元本と同額の場合または上回っている場合には、分配金の全額が普通分配金となります。

基準価額（分配落）が受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。元本払戻金（特別分配金）は、元本の一部払戻しに相当し、非課税扱いとなります。

個別元本とは

個別元本とは、原則として、受益者毎の信託時の受益権の価額（申込手数料および申込手数料に係る消費税等相当額は含まれません。）をいい、追加信託のつど当該口数により加重平均されます。

ただし、複数の販売会社でファンドを買付けた場合は、販売会社ごとに個別元本の算出が行われます。

また、同一販売会社であっても、複数口座でファンドを買付けた場合には口座ごとに、「分配金受取りコース」と「分配金再投資コース」を併用する場合にはコースごとに、個別元本の算出が行われることがあります。

受益者が、元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、個別元本は、分配金発生時の個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額となります。

少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」、未成年者少額投資非課税制度「愛称：ジュニアNISA（ジュニアニーサ）」をご利用の場合

毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が一定期間非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

その他

- ・ 配当控除の適用はありません。
- ・ 買取請求による換金の場合の課税上の取扱い及び損益通算等につきましては、取得申込みを取り扱った販売会社にお問い合わせ下さい。

上記の内容は平成28年4月末日現在の税法に基づくものであり、税法が改正された場合には変更になることがあります。課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

5【運用状況】

平成28年 4月28日現在の運用状況は、以下の通りです。

投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。また、小数点以下第3位を四捨五入しており、合計と合わない場合があります。

（1）【投資状況】

アジア・オセアニア好配当成長株オープン（1年決算型）

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	日本	1,993,088,728	98.40
親投資信託受益証券	日本	3,000,189	0.15
コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）		29,429,463	1.45
合計（純資産総額）		2,025,518,380	100.00

（参考）日本マネー・マザーファンド

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	日本	136,025,108	18.15
特殊債券	日本	450,268,743	60.09
コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）		163,064,621	21.76
合計（純資産総額）		749,358,472	100.00

（参考）イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	542,076,171,813	99.48
現金・預金・その他の資産（負債控除後）	-	2,823,762,905	0.52
合計（純資産総額）		544,899,934,718	100.00

（参考）イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	ケイマン諸島	64,743,418,559	11.80
	オーストラリア	104,015,486,708	18.96
	バミューダ	12,411,958,613	2.26
	ニュージーランド	4,824,150,289	0.88
	香港	55,308,459,069	10.08
	シンガポール	36,829,889,065	6.71
	タイ	13,288,830,984	2.42
	フィリピン	3,535,518,600	0.64
	インドネシア	21,170,484,693	3.86
	韓国	55,553,858,446	10.12
	台湾	78,354,428,728	14.28
	中華人民共和国	66,585,928,056	12.13
	インド	13,220,620,692	2.41
小計		529,843,032,502	96.56
現金・預金・その他の資産（負債控除後）	-	18,903,547,114	3.44
合計（純資産総額）		548,746,579,616	100.00

（２）【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

組入銘柄は、上位30銘柄もしくは全銘柄を記載しています。

アジア・オセアニア好配当成長株オープン（1年決算型）

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	投資信託受益証券	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）	4,497,041,354	0.5003	2,249,963,774	0.4432	1,993,088,728	98.40
2	日本	親投資信託受益証券	日本マネー・マザーファンド	2,941,074	1.0201	3,000,189	1.0201	3,000,189	0.15

（種類別投資比率）

種類	投資比率（%）
投資信託受益証券	98.40
親投資信託受益証券	0.15
合計	98.55

（参考）日本マネー・マザーファンド

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	利率 (%)	償還期限	投資 比率 (%)
1	日本	特殊債券	第4回政府保証原子力損害賠償支援機構債	200,000,000	100.00	200,016,125	100.00	200,016,125	0.075	2016年6月10日	26.69
2	日本	特殊債券	第26回政府保証銀行等保有株式取得機構債	100,000,000	100.07	100,072,340	100.07	100,072,340	0.1	2017年1月20日	13.35
3	日本	特殊債券	第24回政府保証銀行等保有株式取得機構債	100,000,000	100.02	100,025,646	100.02	100,025,646	0.1	2016年8月5日	13.35
4	日本	国債証券	第340回利付国債（2年）	100,000,000	100.00	100,004,608	100.00	100,004,608	0.1	2016年5月15日	13.35
5	日本	国債証券	第97回利付国債（5年）	36,000,000	100.05	36,020,500	100.05	36,020,500	0.4	2016年6月20日	4.81
6	日本	特殊債券	第3回政府保証東日本高速道路債券	30,000,000	100.12	30,037,248	100.12	30,037,248	2	2016年5月23日	4.01
7	日本	特殊債券	第866回政府保証公営企業債券	20,000,000	100.58	20,117,384	100.58	20,117,384	2	2016年8月18日	2.68

（種類別投資比率）

種類	投資比率（%）
国債証券	18.15
特殊債券	60.09
合計	78.24

（参考）イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）

国/ 地域	種類	銘柄名	数量 (口数)	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
----------	----	-----	------------	-------------------	-------------------	------------------	------------------	-----------------

日本	親投資信託 受益証券	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド	300,819,185,246	1.7675	531,697,909,923	1.8020	542,076,171,813	99.48
----	---------------	---------------------------------	-----------------	--------	-----------------	--------	-----------------	-------

種類別投資比率

種類	投資比率 (%)
親投資信託受益証券	99.48
合計	99.48

(参考) イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド

国/ 地域	種類	銘柄名	業種	数量	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
台湾	株式	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	半導体・半 導体製造装 置	39,912,323	456.81	18,232,503,067	530.53	21,174,884,283	3.86
オース トラリ ア	株式	WESTPAC BANKING CORPORATION	銀行	8,172,630	2,492.83	20,373,016,723	2,580.39	21,088,621,761	3.84
中華人 民共和 国	株式	CHINA CONSTRUCTION BANK CORPORATION	銀行	228,465,000	75.43	17,235,079,220	71.31	16,293,209,940	2.97
香港	株式	CHINA MOBILE LTD	電気通信 サービス	12,445,000	1,337.90	16,650,201,165	1,296.14	16,130,462,300	2.94
ケイマ ン諸島	株式	TENCENT HOLDINGS LTD	ソフトウェ ア・サービ ス	6,818,400	2,032.11	13,855,790,863	2,256.92	15,388,617,420	2.80
中華人 民共和 国	株式	IND & COMM BK OF CHINA - H	銀行	244,660,075	65.23	15,959,543,682	59.85	14,644,006,459	2.67
オース トラリ ア	株式	AUST AND NZ BANKING GROUP LTD	銀行	7,241,614	2,233.45	16,173,837,912	1,991.59	14,422,340,510	2.63
中華人 民共和 国	株式	BANK OF CHINA LTD-H	銀行	294,834,000	48.67	14,351,339,784	45.28	13,350,083,520	2.43
韓国	株式	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD-PREF	テクノロ ジー・ハー ドウェアお よび機器	122,576	86,028.58	10,545,040,421	102,996.60	12,624,911,242	2.30
オース トラリ ア	株式	INSURANCE AUSTRALIA GROUP LTD	保険	24,452,395	417.12	10,199,712,247	480.38	11,746,539,320	2.14
シンガ ポール	株式	SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS	電気通信 サービス	35,800,400	298.21	10,676,280,727	313.69	11,230,513,879	2.05
ケイマ ン諸島	株式	CK HUTCHISON HOLDINGS LTD	資本財	8,172,000	1,454.97	11,890,020,696	1,337.88	10,933,175,790	1.99

シンガポール	株式	DBS GROUP HOLDINGS LTD	銀行	8,523,274	1,262.12	10,757,438,902	1,271.08	10,833,831,302	1.97
オーストラリア	株式	BHP BILLITON LTD	素材	6,121,289	1,959.89	11,997,114,311	1,638.80	10,031,629,626	1.83
オーストラリア	株式	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	銀行	4,459,346	2,454.55	10,945,723,198	2,243.45	10,004,364,377	1.82
中華人民共和国	株式	CHINA VANKE CO LTD	不動産	35,269,500	240.84	8,494,398,684	277.90	9,801,605,667	1.79
韓国	株式	SHINHAN FINANCIAL GROUP LTD	銀行	2,386,126	3,864.76	9,221,828,181	4,099.72	9,782,460,415	1.78
シンガポール	株式	HUTCHISON PORT HOLDINGS TRUST	運輸	186,446,300	60.26	11,235,512,785	49.38	9,208,116,641	1.68
中華人民共和国	株式	CHINA SHENHUA ENERGY COMPANY LIMITED	エネルギー	49,176,000	179.28	8,816,342,454	185.08	9,101,592,432	1.66
ケイマン諸島	株式	HKT TRUST AND HKT LTD	電気通信サービス	56,559,700	134.14	7,587,031,277	157.06	8,883,549,280	1.62
台湾	株式	CTBC FINANCIAL HOLDING CO LTD	銀行	158,973,837	58.08	9,233,634,816	55.76	8,865,255,507	1.62
香港	株式	BOC HONG KONG HOLDINGS LTD	銀行	26,292,000	334.51	8,795,027,839	336.77	8,854,356,840	1.61
ケイマン諸島	株式	SANDS CHINA LTD	消費者サービス	22,123,600	362.24	8,014,052,864	397.61	8,796,675,214	1.60
ケイマン諸島	株式	CHEUNG KONG PROPERTY HOLDING	不動産	11,559,500	815.20	9,423,341,098	757.02	8,750,830,487	1.59
タイ	株式	PTT GLOBAL CHEMICAL PCL-FOR	素材	42,824,000	175.62	7,521,063,052	194.22	8,317,277,280	1.52
オーストラリア	株式	QBE INSURANCE GROUP LIMITED	保険	8,905,551	1,050.65	9,356,624,413	933.24	8,311,069,849	1.51
ケイマン諸島	株式	HENGAN INTL GROUP CO LTD	家庭用品・パーソナル用品	8,267,500	955.24	7,897,446,897	993.33	8,212,355,775	1.50
韓国	株式	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	64,886	107,232.66	6,957,898,619	124,670.00	8,089,337,620	1.47
香港	株式	SUN HUNG KAI PROPERTIES	不動産	5,699,738	1,427.73	8,137,715,434	1,400.14	7,980,445,413	1.45
台湾	株式	MEDIATEK INC	半導体・半導体製造装置	9,539,000	823.16	7,852,132,411	820.38	7,825,604,820	1.43

種類別及び業種別投資比率

種類	国内 / 外国	業種	投資比率 (%)
株式	外国	エネルギー	4.36
		素材	8.85

	資本財	2.61
	運輸	3.73
	自動車・自動車部品	0.79
	消費者サービス	2.29
	メディア	0.10
	食品・生活必需品小売り	1.08
	食品・飲料・タバコ	1.04
	家庭用品・パーソナル用品	1.50
	ヘルスケア機器・サービス	0.02
	銀行	25.26
	各種金融	1.59
	保険	3.66
	不動産	7.01
	ソフトウェア・サービス	2.80
	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	9.46
	電気通信サービス	10.96
	公益事業	3.23
	半導体・半導体製造装置	6.23
合計		96.56

【投資不動産物件】

アジア・オセアニア好配当成長株オープン（1年決算型）

該当事項はありません。

（参考）日本マネー・マザーファンド

該当事項はありません。

（参考）イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）

該当事項はありません。

（参考）イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

アジア・オセアニア好配当成長株オープン（1年決算型）

該当事項はありません。

（参考）日本マネー・マザーファンド

該当事項はありません。

（参考）イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）

該当事項はありません。

（参考）イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド

資産の種類	通貨	買建 / 売建	数量 (契約額)	帳簿価額 (円)	評価額 (円)	投資比率 (%)
為替予約取引	米ドル	買建	5,193,775.61	578,655,436	569,964,935	0.10
	米ドル	売建	130,000,000.00	14,454,388,000	14,264,900,000	2.59
	シンガポールドル	売建	7,013,155.21	578,655,436	571,291,623	0.10

（3）【運用実績】

【純資産の推移】

アジア・オセアニア好配当成長株オープン（1年決算型）

	純資産総額(円)		基準価額(円) (1口当たり)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1期計算期間末 (平成25年10月10日)	9,903,938	9,903,938	0.9904	0.9904
第2期計算期間末 (平成26年10月10日)	709,480,102	709,480,102	1.1337	1.1337
第3期計算期間末 (平成27年10月13日)	2,158,772,033	2,158,772,033	1.1344	1.1344
平成27年 4月末日	1,768,357,483		1.3620	
5月末日	1,977,094,722		1.3602	
6月末日	2,127,606,581		1.2909	
7月末日	2,247,892,239		1.2509	
8月末日	2,038,739,163		1.1011	
9月末日	1,917,392,448		1.0343	
10月末日	2,174,334,391		1.1303	
11月末日	2,178,996,083		1.1160	
12月末日	2,159,109,548		1.0925	
平成28年 1月末日	1,960,094,751		0.9874	
2月末日	1,893,175,666		0.9538	
3月末日	2,067,367,417		1.0396	
4月末日	2,025,518,380		1.0109	

【分配の推移】

アジア・オセアニア好配当成長株オープン（1年決算型）

	期間	分配金 (1口当たり)
第1期計算期間	平成25年 9月25日～平成25年10月10日	0.0000円
第2期計算期間	平成25年10月11日～平成26年10月10日	0.0000円
第3期計算期間	平成26年10月11日～平成27年10月13日	0.0000円
第4期中間計算期間	平成27年10月14日～平成28年 4月13日	円

【収益率の推移】

アジア・オセアニア好配当成長株オープン（1年決算型）

	期間	収益率（％）
第1期計算期間	平成25年 9月25日～平成25年10月10日	1.0
第2期計算期間	平成25年10月11日～平成26年10月10日	14.5
第3期計算期間	平成26年10月11日～平成27年10月13日	0.1
第4期中間計算期間	平成27年10月14日～平成28年 4月13日	12.6

（注）収益率は期間騰落率です。小数点以下第2位を四捨五入しております。

（4）【設定及び解約の実績】

アジア・オセアニア好配当成長株オープン（1年決算型）

期間	設定数量（口）	解約数量（口）
第1期計算期間	10,000,000	0
第2期計算期間	701,200,987	85,399,554
第3期計算期間	1,678,077,327	400,936,898
第4期中間計算期間	295,597,463	186,638,891

参考情報

運用実績

2016年4月28日現在

基準価額・純資産の推移 (2013年9月25日～2016年4月28日)



※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後の価額です。

※分配金再投資基準価額は、決算時の分配金を非課税で再投資したものと計算しております。

※設定時から10年以上経過した場合は、直近10年分を記載しています。

分配金の推移

2015年10月	0円
2014年10月	0円
2013年10月	0円
—	—
—	—
設定来累計	0円

※上記分配金は1万口当たり、税引前です。

主な資産の状況

組入ファンド

ファンド名	純資産比率
イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド(適格機関投資家専用)	98.40%
日本マネー・マザーファンド	0.15%

組入上位銘柄(イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド)

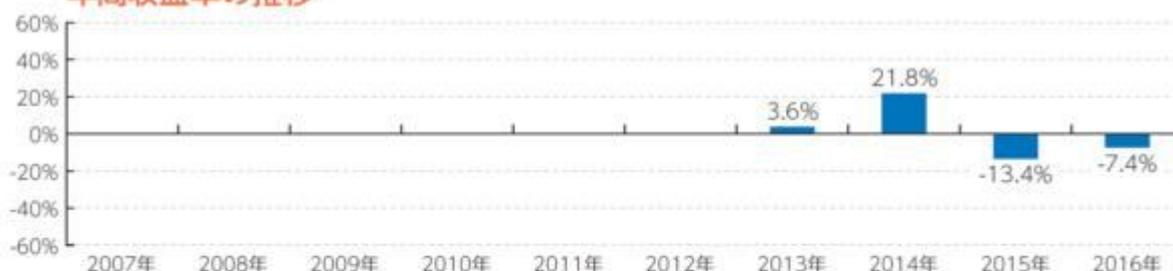
銘柄名	国/地域	業種	純資産比率
台湾セミコンダクター	台湾	半導体・半導体製造装置	3.86%
ウエストパック銀行	オーストラリア	銀行	3.84%
中国建設銀行	中華人民共和国	銀行	2.97%
チャイナ・モバイル	香港	電気通信サービス	2.94%
テンセント・ホールディングス	ケイマン諸島	ソフトウェア・サービス	2.80%
中国工商銀行	中華人民共和国	銀行	2.67%
ANZ銀行グループ	オーストラリア	銀行	2.63%
中国銀行	中華人民共和国	銀行	2.43%
サムスン電子	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.30%
インシュアランス・オーストラリア・グループ	オーストラリア	保険	2.14%

※比率はイーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンドの純資産総額に対する比率です。国/地域は登記国/地域で記載しています。

※組入銘柄は、上位10銘柄もしくは全銘柄を記載しています。

※イーストスプリング・インベストメンツ株式会社のデータを基に岡三アセットマネジメントが作成しています。

年間収益率の推移



※ファンドにはベンチマークはありません。

※2013年はファンドの設定日から年末まで、2016年は4月末までの騰落率を示しています。

※ファンドの年間収益率は、基準価額増減に分配金(税引前)を合計して算出しています。

・過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
・最新の運用実績は、委託会社のホームページ、または販売会社でご確認いただけます。

第3【ファンドの経理状況】

1. 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）並びに同規則第38条の3及び同規則第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。
なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
2. 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第4期中間計算期間（平成27年10月14日から平成28年4月13日まで）の中間財務諸表について、東陽監査法人により中間監査を受けております。

【中間財務諸表】

【アジア・オセアニア好配当成長株オープン（1年決算型）】

(1) 【中間貸借対照表】

(単位：円)

第4期中間計算期間末 (平成28年4月13日現在)	
資産の部	
流動資産	
金銭信託	73,264,442
投資信託受益証券	1,934,160,787
親投資信託受益証券	3,000,189
流動資産合計	2,010,425,418
資産合計	2,010,425,418
負債の部	
流動負債	
未払解約金	2,808,589
未払受託者報酬	555,690
未払委託者報酬	11,113,681
その他未払費用	111,077
流動負債合計	14,589,037
負債合計	14,589,037
純資産の部	
元本等	
元本	*12,011,900,434
剰余金	
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	16,064,053
（分配準備積立金）	242,498,205
元本等合計	1,995,836,381
純資産合計	*31,995,836,381
負債純資産合計	2,010,425,418

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

第4期中間計算期間 自 平成27年10月14日 至 平成28年4月13日	
営業収益	
受取配当金	29,557,775
受取利息	5,759
有価証券売買等損益	299,626,027
営業収益合計	270,062,493
営業費用	

	第4期中間計算期間 自 平成27年10月14日 至 平成28年 4月13日
受託者報酬	555,690
委託者報酬	11,113,681
その他費用	111,077
営業費用合計	11,780,448
営業利益又は営業損失（ ）	281,842,941
経常利益又は経常損失（ ）	281,842,941
中間純利益又は中間純損失（ ）	281,842,941
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	17,379,380
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	255,830,171
剰余金増加額又は欠損金減少額	16,473,941
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	16,473,941
剰余金減少額又は欠損金増加額	23,904,604
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	23,904,604
分配金	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	16,064,053

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

期 別	第4期中間計算期間 自 平成27年10月14日 至 平成28年 4月13日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価に当たっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p> <p>投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価に当たっては、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p>
2. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金 原則として、投資信託の分配落ち日に計上しております。</p> <p>有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。</p>

(中間貸借対照表に関する注記)

第4期中間計算期間末 (平成28年 4月13日現在)	
*1. 当該中間計算期間の末日における受益権の総数	2,011,900,434口

2. 投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額	
元本の欠損	16,064,053円
*3. 当該中間計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たりの純資産額	0.9920円
(10,000口当たりの純資産額)	9,920円)

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

第4期中間計算期間 自 平成27年10月14日 至 平成28年 4月13日
該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価に関する事項

期 別	第4期中間計算期間末 (平成28年 4月13日現在)
1. 中間貸借対照表額、時価及び差額	中間貸借対照表上の金融商品は原則として全て時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	時価の算定方法は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」に記載しております。その他、コール・ローン等は短期間で決済され、時価は帳簿価格と近似していることから、当該帳簿価格を時価としております。

(重要な後発事象に関する注記)

第4期中間計算期間 自 平成27年10月14日 至 平成28年 4月13日
該当事項はありません。

(その他の注記)

1. 元本の移動

第4期中間計算期間末 (平成28年 4月13日現在)	
投資信託財産に係る元本の状況	
期首元本額	1,902,941,862円
期中追加設定元本額	295,597,463円

期中一部解約元本額

186,638,891円

2. 有価証券関係

該当事項はありません。

3. デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

(参考)

当ファンドは、「日本マネー・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としております。中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、当該マザーファンドの受益証券です。

マザーファンドの経理状況は参考情報であり、監査証明の対象ではありません。

日本マネー・マザーファンド

貸借対照表

(単位：円)

科 目	期 別	注記番 号	平成28年 4月13日現在
			金額
資産の部			
流動資産			
金銭信託			262,797,680
国債証券			136,034,873
特殊債券			350,290,812
未収利息			147,387
前払費用			89,862
流動資産合計			749,360,614
資産合計			749,360,614
負債の部			
流動負債			
流動負債合計			-
負債合計			-
純資産の部			
元本等			
元本		*1	734,564,627
剰余金			
剰余金又は欠損金()			14,795,987
元本等合計			749,360,614
純資産合計		*2	749,360,614
負債純資産合計			749,360,614

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

期 別	自 平成27年10月14日 至 平成28年 4月13日
項 目	
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券、特殊債券</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価に当たっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）、又は価格情報会社の提供する価額で評価しております。ただし、償還日までの残存期間が1年以内の債券について、価格変動性が限定的で、償却原価法による評価が合理的であり、かつ受益者の利益を害しないと委託会社が判断した場合は、償却原価法によって評価しております。</p>
2. 収益及び費用の計上基準	<p>有価証券売買等損益</p> <p>約定日基準で計上しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>計算期間の取扱い</p> <p>当ファンドの計算期間は、アジア・オセアニア好配当成長株オープン（1年決算型）の中間計算期間に合わせるため、平成27年10月14日から平成28年 4月13日までとなっております。</p>

（貸借対照表に関する注記）

平成28年 4月13日現在	
*1. 当該計算期間の末日における受益権の総数	734,564,627口
*2. 当該計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たりの純資産額	1.0201円
(10,000口当たりの純資産額)	10,201円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価に関する事項

期 別	平成28年 4月13日現在
項 目	
1. 貸借対照表額、時価及び差額	<p>貸借対照表上の金融商品は原則として全て時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p>
2. 時価の算定方法	<p>時価の算定方法は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」に記載しております。この他、コール・ローン等は短期間で決済され、時価は帳簿価格と近似していることから、当該帳簿価格を時価としております。</p>

（その他の注記）

1. 元本の移動

平成28年 4月13日現在	
投資信託財産に係る元本の状況	
期首	平成27年10月14日
期首元本額	1,077,668,245円
期首より平成28年 4月13日までの追加設定元本額	- 円
期首より平成28年 4月13日までの一部解約元本額	343,103,618円
期末元本額	734,564,627円
平成28年 4月13日現在の元本の内訳（*）	
アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	669,695,326円
米国中小型株オープン	2,977,700円
新興国連続増配成長株オープン	9,912,648円
米国短期ハイ・イールド債券オープン	49,037,879円
アジア・オセアニア好配当成長株オープン（1年決算型）	2,941,074円

* は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託毎の元本額

2. 有価証券関係

該当事項はありません。

3. デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）

当ファンドは、「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）」を、主要投資対象としております。

以下の経理状況は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社から提供された財務諸表です。

[ファンドの経理状況]

（1）当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）（以下「財務諸表等規則」という。）及び同規則第2条の2の規定による「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）（以下「投資信託財産計算規則」という。）並びに我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

（2）当ファンドの計算期間は6ヵ月未満であるため、財務諸表は原則として6ヵ月毎に作成しております。

す。

(3) 当ファンドは、当特定期間（平成27年10月7日から平成28年4月6日まで）の財務諸表について、PwCあらた監査法人により監査を受けております。

その監査報告書は該当する財務諸表の直前に添付しております。

[財務諸表]

イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）

(1) [貸借対照表]

区 分	注記 番号	前特定期間 (平成27年10月6日現在)	当特定期間 (平成28年4月6日現在)
		金 額(円)	金 額(円)
資産の部			
流動資産			
親投資信託受益証券		667,949,338,163	528,682,159,851
流動資産合計		667,949,338,163	528,682,159,851
資産合計		667,949,338,163	528,682,159,851
負債の部			
流動負債			
未払収益分配金		2,371,131,052	3,018,975,567
未払受託者報酬		22,725,950	19,186,060
未払委託者報酬		289,755,861	244,622,238
その他未払費用		1,458,000	1,458,000
流動負債合計		2,685,070,863	3,284,241,865
負債合計		2,685,070,863	3,284,241,865
純資産の部			
元本等			
元本	1、2	1,394,782,971,912	1,207,590,226,873
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金()	3	729,518,704,612	682,192,308,887
(分配準備積立金)		173,390,748,133	148,395,383,175
元本等合計		665,264,267,300	525,397,917,986
純資産合計		665,264,267,300	525,397,917,986
負債純資産合計		667,949,338,163	528,682,159,851

(2) [損益及び剰余金計算書]

区 分	注記 番号	前特定期間 自 平成27年 4月7日 至 平成27年10月6日	当特定期間 自 平成27年10月7日 至 平成28年 4月6日
		金 額(円)	金 額(円)
営業収益			
受取利息		4,382	164
有価証券売買等損益		134,804,587,633	43,714,379,430
営業収益合計		134,804,583,251	43,714,379,266
営業費用			
受託者報酬		170,970,036	129,969,898
委託者報酬	2	2,179,867,919	1,657,116,073

その他費用		1,458,000	1,458,000
営業費用合計		2,352,295,955	1,788,543,971
営業利益又は営業損失()		137,156,879,206	45,502,923,237
経常利益又は経常損失()		137,156,879,206	45,502,923,237
当期純利益又は当期純損失()		137,156,879,206	45,502,923,237
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額()		5,729,351,474	2,313,444,703
期首剰余金又は期首欠損金()		475,803,223,326	729,518,704,612
剰余金増加額又は欠損金減少額		51,611,713,571	106,595,406,228
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		51,611,713,571	106,595,406,228
剰余金減少額又は欠損金増加額		109,873,404,050	7,521,105,870
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		109,873,404,050	7,521,105,870
分配金	1	64,026,263,075	8,558,426,099
期末剰余金又は期末欠損金()		729,518,704,612	682,192,308,887

(3) [注記表]

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

当特定期間 自 平成27年10月7日 至 平成28年 4月6日
有価証券の評価基準及び評価方法 親投資信託受益証券につきましては、移動平均法に基づき、時価で評価しております。時価評価にあたっては当該親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。

(貸借対照表に関する注記)

区 分	前特定期間 (平成27年10月6日現在)	当特定期間 (平成28年4月6日現在)
1. 元本の推移		
期首元本額	1,220,410,632,888 円	1,394,782,971,912 円
期中追加設定元本額	283,788,404,053 円	13,736,105,870 円
期中一部解約元本額	109,416,065,029 円	200,928,850,909 円
2. 特定期間末日における受益権の総数	1,394,782,971,912 口	1,207,590,226,873 口
3. 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額	元本の欠損 729,518,704,612 円	元本の欠損 682,192,308,887 円
4. 1口当たりの純資産額 (1万口当たりの純資産額)	0.4770 円 (4,770 円)	0.4351 円 (4,351 円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

前特定期間 自 平成27年 4月7日 至 平成27年10月6日	当特定期間 自 平成27年10月7日 至 平成28年 4月6日
1. 分配金の計算過程 第114期 平成27年4月7日 平成27年5月7日	1. 分配金の計算過程 第120期 平成27年10月7日 平成27年11月6日
A 費用控除後の配当等収益額 814,435,212円	A 費用控除後の配当等収益額 776,245,593円
B 費用控除後・繰越欠損金補 填後の有価証券等損益額 30,686,642,671円	B 費用控除後・繰越欠損金補 填後の有価証券等損益額 0円
C 収益調整金額 5,141,374,990円	C 収益調整金額 38,248,057円
D 分配準備積立金額 152,800,208,562円	D 分配準備積立金額 170,396,274,383円
E 当ファンドの分配対象収益 額 189,442,661,435円	E 当ファンドの分配対象収益 額 171,210,768,033円
F 当ファンドの期末残存口数 1,261,058,665,643口	F 当ファンドの期末残存口数 1,370,927,396,414口
G 10,000口当たり収益分配対 象額 1,502円	G 10,000口当たり収益分配対 象額 1,248円
H 10,000口当たり分配金額 97円	H 10,000口当たり分配金額 6円
I 収益分配金金額 12,232,269,056円	I 収益分配金金額 822,556,437円

前特定期間 自 平成27年 4月7日 至 平成27年10月6日	当特定期間 自 平成27年10月7日 至 平成28年 4月6日
第115期 平成27年5月8日 平成27年6月8日	第121期 平成27年11月7日 平成27年12月7日
A 費用控除後の配当等収益額 2,997,171,117円	A 費用控除後の配当等収益額 1,155,773,143円
B 費用控除後・繰越欠損金補 填後の有価証券等損益額 9,691,005,587円	B 費用控除後・繰越欠損金補 填後の有価証券等損益額 0円
C 収益調整金額 11,543,071,422円	C 収益調整金額 13,552,073円
D 分配準備積立金額 177,182,610,278円	D 分配準備積立金額 165,161,464,509円
E 当ファンドの分配対象収益 額 201,413,858,404円	E 当ファンドの分配対象収益 額 166,330,789,725円
F 当ファンドの期末残存口数 1,342,572,522,512口	F 当ファンドの期末残存口数 1,328,981,618,044口
G 10,000口当たり収益分配対 象額 1,500円	G 10,000口当たり収益分配対 象額 1,251円
H 10,000口当たり分配金額 108円	H 10,000口当たり分配金額 9円
I 収益分配金金額 14,499,783,243円	I 収益分配金金額 1,196,083,456円
第116期 平成27年6月9日 平成27年7月6日	第122期 平成27年12月8日 平成28年 1月6日

A 費用控除後の配当等収益額	6,770,959,770円	A 費用控除後の配当等収益額	103,852,518円
B 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	0円	B 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	0円
C 収益調整金額	12,645,293,230円	C 収益調整金額	5,175,177円
D 分配準備積立金額	186,872,520,786円	D 分配準備積立金額	165,134,706,269円
E 当ファンドの分配対象収益額	206,288,773,786円	E 当ファンドの分配対象収益額	165,243,733,964円
F 当ファンドの期末残存口数	1,430,958,739,515口	F 当ファンドの期末残存口数	1,329,023,241,354口
G 10,000口当たり収益分配対象額	1,441円	G 10,000口当たり収益分配対象額	1,243円
H 10,000口当たり分配金額	135円	H 10,000口当たり分配金額	1円
I 収益分配金金額	19,317,942,983円	I 収益分配金金額	132,902,324円
第117期 平成27年7月7日 平成27年8月6日		第123期 平成28年1月7日 平成28年2月8日	
A 費用控除後の配当等収益額	2,275,170,164円	A 費用控除後の配当等収益額	1,355,122,204円
B 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	0円	B 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	0円
C 収益調整金額	9,758,444,970円	C 収益調整金額	0円
D 分配準備積立金額	186,872,520,786円	D 分配準備積立金額	152,043,829,844円
E 当ファンドの分配対象収益額	198,906,135,920円	E 当ファンドの分配対象収益額	153,398,952,048円
F 当ファンドの期末残存口数	1,504,094,712,547口	F 当ファンドの期末残存口数	1,223,845,375,019口
G 10,000口当たり収益分配対象額	1,322円	G 10,000口当たり収益分配対象額	1,253円
H 10,000口当たり分配金額	80円	H 10,000口当たり分配金額	11円
I 収益分配金金額	12,032,757,700円	I 収益分配金金額	1,346,229,912円

前特定期間		当特定期間	
自 平成27年 4月7日		自 平成27年10月7日	
至 平成27年10月6日		至 平成28年 4月6日	
第118期 平成27年8月7日 平成27年9月7日		第124期 平成28年2月9日 平成28年3月7日	
A 費用控除後の配当等収益額	3,616,304,347円	A 費用控除後の配当等収益額	2,064,035,728円
B 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	0円	B 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	0円
C 収益調整金額	9,490,304円	C 収益調整金額	0円
D 分配準備積立金額	177,527,870,474円	D 分配準備積立金額	149,212,779,426円
E 当ファンドの分配対象収益額	181,153,665,125円	E 当ファンドの分配対象収益額	151,276,815,154円
F 当ファンドの期末残存口数	1,428,951,616,717口	F 当ファンドの期末残存口数	1,200,987,295,896口
G 10,000口当たり収益分配対象額	1,267円	G 10,000口当たり収益分配対象額	1,259円
H 10,000口当たり分配金額	25円	H 10,000口当たり分配金額	17円
I 収益分配金金額	3,572,379,041円	I 収益分配金金額	2,041,678,403円
第119期 平成27年 9月8日 平成27年10月6日		第125期 平成28年3月8日 平成28年4月6日	

A 費用控除後の配当等収益額	2,436,178,431円	A 費用控除後の配当等収益額	1,388,705,985円
B 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	0円	B 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	0円
C 収益調整金額	9,263,373円	C 収益調整金額	1,671,432,379円
D 分配準備積立金額	173,325,700,754円	D 分配準備積立金額	148,395,383,175円
E 当ファンドの分配対象収益額	175,771,142,558円	E 当ファンドの分配対象収益額	151,455,521,539円
F 当ファンドの期末残存口数	1,394,782,971,912口	F 当ファンドの期末残存口数	1,207,590,226,873口
G 10,000口当たり収益分配対象額	1,260円	G 10,000口当たり収益分配対象額	1,254円
H 10,000口当たり分配金額	17円	H 10,000口当たり分配金額	25円
I 収益分配金金額	2,371,131,052円	I 収益分配金金額	3,018,975,567円
2. 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用 信託財産の純資産総額に年10,000分の40以内の率を乗じて得た金額		2. 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用 同左	

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

前特定期間 自 平成27年 4月7日 至 平成27年10月6日	当特定期間 自 平成27年10月7日 至 平成28年 4月6日
1. 金融商品に対する取組方針 当ファンドは投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に定める運用の基本方針に従う方針です。 また、有価証券等の金融商品は投資として運用することを目的としております。	1. 金融商品に対する取組方針 同左
2. 金融商品の内容及びそのリスク 当ファンドが保有する金融商品は有価証券であります。 当ファンドが保有する有価証券は「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。 これは、株価変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスク等の市場リスク、信用リスク、及び流動性リスクに晒されております。	2. 金融商品の内容及びそのリスク 同左

<p>3. 金融商品に係るリスク管理体制 委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会である投資運用委員会を設け、パフォーマンスの分析及び運用リスクの管理を行なっております。</p> <p>市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を分析・把握し、投資方針への準拠性等の管理を行なっております。</p> <p>信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。</p> <p>流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。</p>	<p>3. 金融商品に係るリスク管理体制 同左</p>
---	---------------------------------

金融商品の時価等に関する事項

前特定期間 自 平成27年 4月7日 至 平成27年10月6日	当特定期間 自 平成27年10月7日 至 平成28年 4月6日
<p>1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額 貸借対照表上の金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p>	<p>1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額 同左</p>
<p>2. 時価の算定方法 親投資信託受益証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。</p>	<p>2. 時価の算定方法 同左</p>
<p>3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。</p>	<p>3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 同左</p>

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	前特定期間 (平成27年10月6日現在)	当特定期間 (平成28年4月6日現在)
	最終計算期間の 損益に含まれた評価差額(円)	最終計算期間の 損益に含まれた評価差額(円)
親投資信託受益証券	24,569,865,302	7,482,757,774
合計	24,569,865,302	7,482,757,774

(デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）
該当事項はありません。

（重要な後発事象に関する注記）
該当事項はありません。

（４）[付属明細表]

１．有価証券明細表

（１）株式

該当事項はありません。

（２）株式以外の有価証券

（平成28年4月6日現在）

種 類	銘 柄	券面総額(口)	評価額(円)	備 考
親投資信託 受益証券	イーストスプリング・アジア・ オセアニア好配当株式マザー ファンド	299,045,285,283	528,682,159,851	-
合 計	-	299,045,285,283	528,682,159,851	-

（注）親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は口数を表示しております。

２．デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表
該当事項はありません。

参考情報

当ファンドは、「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同親投資信託の受益証券です。

なお、同親投資信託の状況は以下の通りです。

「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド」の状況
なお、以下に記載した情報は監査対象外であります。

（１）貸借対照表

区 分	注記 番号	(平成27年10月6日現在)	(平成28年4月6日現在)
		金 額(円)	金 額(円)
資産の部			
流動資産			
預金		10,732,483,523	10,705,100,909
金銭信託		744,165	5,938,570,714
コール・ローン		4,721,469,986	-
株式		659,112,106,138	514,339,264,124
新株予約権証券		49,757,059	-
派生商品評価勘定		869,029	28,505,387
未収入金		-	4,338,392,911
未収配当金		1,744,998,689	3,050,386,099
未収利息		2,587	-
流動資産合計		676,362,431,176	538,400,220,144
資産合計		676,362,431,176	538,400,220,144
負債の部			

流動負債			
派生商品評価勘定		1,204,980	17,325,591
未払金		666,537,146	3,090,141,193
未払解約金		17,014,230	4,396,481
流動負債合計		684,756,356	3,111,863,265
負債合計		684,756,356	3,111,863,265
純資産の部			
元本等			
元本	1、2	355,062,422,294	302,778,426,735
剰余金			
剰余金又は欠損金()		320,615,252,526	232,509,930,144
元本等合計		675,677,674,820	535,288,356,879
純資産合計		675,677,674,820	535,288,356,879
負債純資産合計		676,362,431,176	538,400,220,144

(注) 「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド」の計算期間は原則として、毎年10月7日から翌年10月6日までであります。

(2)注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

	自 平成27年10月7日 至 平成28年 4月6日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式及び新株予約権証券につきましては、移動平均法に基づき、以下の通り原則として時価評価しております。</p> <p>(1)金融商品取引所に上場されている有価証券 金融商品取引所に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所における計算期間末日の最終相場又は清算値段（外国証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の最終相場又は清算値段）で評価しております。計算期間の末日に当該金融商品取引所の最終相場等がない場合には、当該金融商品取引所における直近の日の最終相場等で評価しておりますが、直近の日の最終相場等によることが適当でない認められた場合は、当該金融商品取引所における計算期間末日又は直近の日の気配相場で評価しております。</p> <p>(2)金融商品取引所に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会の店頭売買参考統計値（平均値）、金融機関の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格情報提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>(3)時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブの評価基準及び評価方法	<p>為替予約の評価は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。ただし、為替予約のうち対顧客先物売買相場が発表されていない通貨については、対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。</p>
3. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金の計上基準 受取配当金は原則として、株式及び新株予約権証券の配当落ち日において、その金額が確定しているものについては当該金額、未だ確定していない場合については入金時に計上しております。</p>

4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

外貨建取引等の処理基準

「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条、61条に基づいて、外貨建取引の記録、及び外貨の売買を処理しております。

(貸借対照表に関する注記)

区 分	(平成27年10月6日現在)	(平成28年4月6日現在)
1. 元本の推移		
期首元本額	345,174,264,536 円	355,062,422,294 円
期中追加設定元本額	73,634,113,264 円	3,406,219,431 円
期中一部解約元本額	63,745,955,506 円	55,690,214,990 円
元本の内訳		
イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド(適格機関投資家専用)	350,998,075,756 円	299,045,285,283 円
イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式オープン(毎月分配型)	4,058,281,201 円	3,732,673,444 円
イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式オープン(みずほSMA専用)	6,065,337 円	468,008 円
合 計	355,062,422,294 円	302,778,426,735 円
2. 本報告書における開示対象ファンドの特定期間末日における受益権の総数	355,062,422,294 口	302,778,426,735 口
3. 1口当たりの純資産額(1万口当たりの純資産額)	1.9030 円 (19,030 円)	1.7679 円 (17,679 円)

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

自 平成27年 4月7日 至 平成27年10月6日	自 平成27年10月7日 至 平成28年 4月6日
1. 金融商品に対する取組方針 当ファンドは投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に定める運用の基本方針に従う方針です。 また、有価証券等の金融商品は投資として運用することを目的としております。	1. 金融商品に対する取組方針 同左

<p>2. 金融商品の内容及びそのリスク</p> <p>当ファンドが保有する金融商品は有価証券、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。</p> <p>当ファンドが保有する有価証券は「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。</p> <p>これらは、株価変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスク等の市場リスク、信用リスク、及び流動性リスクに晒されております。</p> <p>また、当ファンドは信託財産に属する資産の為替変動リスクの低減、並びに信託財産に属する外貨建資金の受渡を行なうことを目的として、為替予約取引を利用しております。</p>	<p>2. 金融商品の内容及びそのリスク</p> <p>同左</p>
<p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p> <p>委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会である投資運用委員会を設け、パフォーマンスの分析及び運用リスクの管理を行なっております。</p> <p>市場リスクの管理</p> <p>市場リスクに関しては、資産配分等の状況を分析・把握し、投資方針への準拠性等の管理を行なっております。</p> <p>信用リスクの管理</p> <p>信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。</p> <p>流動性リスクの管理</p> <p>流動性リスクに関しては、市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。</p>	<p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p> <p>同左</p>

金融商品の時価等に関する事項

自 平成27年 4月7日 至 平成27年10月6日	自 平成27年10月7日 至 平成28年 4月6日
<p>1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額</p> <p>貸借対照表上の金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p>	<p>1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額</p> <p>同左</p>

<p>2. 時価の算定方法 株式及び新株予約権証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 派生商品評価勘定 「（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。</p>	<p>2. 時価の算定方法 株式 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 派生商品評価勘定 「（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。</p>
<p>3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。また、「（デリバティブ取引等に関する注記）取引の時価等に関する事項」におけるデリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。</p>	<p>3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 同左</p>

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	（平成27年10月6日現在）	（平成28年4月6日現在）
	当計算期間の 損益に含まれた評価差額（円）	当計算期間の 損益に含まれた評価差額（円）
株式	93,436,860,223	9,441,595,767
新株予約権証券	39,009,535	-
合計	93,475,869,758	9,441,595,767

（注）上記の当計算期間の損益に含まれた評価差額は、当親投資信託の計算期間の開始日から本報告書における開示対象ファンドの期末日までの期間（平成26年10月7日から平成27年10月6日まで及び平成27年10月7日から平成28年4月6日まで）に対応するものとなっております。

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

通貨関連

（平成27年10月6日現在）

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 買建 米ドル	154,839,981	-	155,709,010	869,029
	売建 フィリピンペソ	154,839,981	-	156,044,961	1,204,980
合計		309,679,962	-	311,753,971	335,951

(平成28年4月6日現在)

区 分	種 類	契約額等（円）		時 価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 買建 米ドル	1,928,723,254	-	1,911,397,663	17,325,591
	売建 ニュージーラ ンドドル	187,590,024	-	186,547,306	1,042,718
	タイバーツ	1,741,133,230	-	1,713,670,561	27,462,669
	合 計	3,857,446,508	-	3,811,615,530	11,179,796

(注) 時価の算定方法

1. 計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

計算期間末日において為替予約の受渡日（以下、「当該日」という。）の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

計算期間末日において当該日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 計算期間末日に当該日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 計算期間末日に当該日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

2. 計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものではありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

(3) 附属明細表

1. 有価証券明細表

(1) 株式

(平成28年4月6日現在)

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単 価	金 額	
米ドル	HUTCHISON PORT HOLDINGS TRUST	182,855,800	0.49	90,513,621.00	
小計		182,855,800		90,513,621.00 (9,992,703,758)	
オーストラリア ドル	WOODSIDE PETROLEUM LTD	1,389,090	23.94	33,254,814.60	
	AMCOR LTD	3,023,337	14.71	44,473,287.27	
	BHP BILLITON LTD	6,121,289	15.98	97,818,198.22	
	SYDNEY AIRPORT	8,966,156	6.62	59,355,952.72	
	WESFARMERS LTD	1,198,142	40.50	48,524,751.00	
	WOOLWORTHS LIMITED	908,781	21.36	19,411,562.16	

	COCA-COLA AMATIL LTD	6,098,089	8.54	52,077,680.06	
	HEALTHSCOPE LTD	26,976,249	2.61	70,408,009.89	
	AUST AND NZ BANKING GROUP LTD	6,040,023	22.47	135,719,316.81	
	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	4,373,478	25.56	111,786,097.68	
	WESTPAC BANKING CORPORATION	8,015,260	29.13	233,484,523.80	
	ASX LTD	1,286,175	41.40	53,247,645.00	
	INSURANCE AUSTRALIA GROUP LTD	21,219,943	5.38	114,163,293.34	
	QBE INSURANCE GROUP LIMITED	6,505,861	10.65	69,287,419.65	
	TELSTRA CORP LTD	12,283,798	5.26	64,612,777.48	
小計		114,405,671		1,207,625,329.68 (100,619,342,468)	
ニュージーランドドル	SPARK NEW ZEALAND LTD	19,861,281	3.44	68,322,806.64	
小計		19,861,281		68,322,806.64 (5,134,458,918)	
香港ドル	CHINA SHENHUA ENERGY COMPANY LIMITED	48,230,000	11.54	556,574,200.00	
	CK HUTCHISON HOLDINGS LTD	6,017,000	98.80	594,479,600.00	
	SINOPEC ENGINEERING GROUP-H	34,814,500	6.37	221,768,365.00	
	COSCO PACIFIC LIMITED	60,146,000	9.65	580,408,900.00	
	SANDS CHINA LTD	22,123,600	29.20	646,009,120.00	
	WYNN MACAU LTD	23,587,600	11.34	267,483,384.00	
	HENGAN INTL GROUP CO LTD	8,109,000	66.80	541,681,200.00	
	BANK OF CHINA LTD-H	294,834,000	3.11	916,933,740.00	
	BOC HONG KONG HOLDINGS LTD	25,786,500	22.60	582,774,900.00	
	CHINA CONSTRUCTION BANK CORPORATION	224,072,000	4.81	1,077,786,320.00	
	IND & COMM BK OF CHINA - H	244,660,075	4.13	1,010,446,109.75	
	CHEUNG KONG PROPERTY HOLDING	10,776,000	49.20	530,179,200.00	
	CHINA OVERSEAS LAND & INVEST	13,816,000	23.85	329,511,600.00	
	CHINA VANKE CO LTD	34,590,300	18.82	650,989,446.00	
	SINO LAND CO	42,760,122	11.60	496,017,415.20	

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
	SUN HUNG KAI PROPERTIES	5,699,738	91.25	520,101,092.50	
	TENCENT HOLDINGS LTD	6,687,300	156.60	1,047,231,180.00	
	VTECH HOLDINGS LTD	3,977,500	91.70	364,736,750.00	
	CHINA MOBILE LTD	12,206,000	85.00	1,037,510,000.00	
	HKT TRUST AND HKT LTD	56,559,700	10.70	605,188,790.00	
	CHINA RESOURCES POWER HOLDIN	19,517,104	14.08	274,800,824.32	
	POWER ASSETS HOLDINGS LIMITED	6,258,000	78.50	491,253,000.00	
小計		1,205,228,039		13,343,865,136.77 (189,883,200,896)	
シンガポールドル	ASIAN PAY TELEVISION TRUST	10,710,800	0.57	6,105,156.00	
	DBS GROUP HOLDINGS LTD	9,073,974	15.05	136,563,308.70	
	SINGAPORE EXCHANGE LTD	11,294,300	7.78	87,869,654.00	
	SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS	38,480,900	3.74	143,918,566.00	
小計		69,559,974		374,456,684.70 (30,518,219,803)	
タイバーツ	PTT PCL-FOREIGN	3,022,500	275.00	831,187,500.00	

	PTT GLOBAL CHEMICAL PCL-FOR	41,999,700	56.75	2,383,482,975.00	
	BANGKOK BANK PLC-FOREIGN	583,800	169.00	98,662,200.00	
小計		45,606,000		3,313,332,675.00 (10,370,731,272)	
フィリピンペソ	PHILIPPINE LONG DISTANCE TEL	855,365	1,930.00	1,650,854,450.00	
小計		855,365		1,650,854,450.00 (3,945,542,135)	
インドネシアルピア	SEMEN INDONESIA PERSERO TBK	13,897,529	10,250.00	142,449,672,250.00	
	SEMEN INDONESIA PERSERO TBK	67,244,471	10,250.00	689,255,827,750.00	
	BANK NEGARA INDONESIA PERSERO	144,336,700	5,200.00	750,550,840,000.00	
	BANK RAKYAT INDONESIA	14,323,400	11,100.00	158,989,740,000.00	
	PERUSAHAAN GAS NEGARA PT	124,751,400	2,755.00	343,690,107,000.00	
	PERUSAHAAN GAS NEGARA PT	152,920,000	2,755.00	421,294,600,000.00	
小計		517,473,500		2,506,230,787,000.00 (21,052,338,610)	
韓国ウォン	SK INNOVATION CO LTD	200,493	166,500.00	33,382,084,500.00	
	LG CHEM LTD	108,214	316,000.00	34,195,624,000.00	
	LG CHEM LTD PFD	164,370	224,500.00	36,901,065,000.00	
	POSCO	287,925	220,000.00	63,343,500,000.00	
	HYUNDAI MOTOR COMPANY	421,370	99,700.00	42,010,589,000.00	
	SHINHAN FINANCIAL GROUP LTD	2,547,222	39,750.00	101,252,074,500.00	
	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	63,640	1,260,000.00	80,186,400,000.00	
	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD-PREF	120,220	1,048,000.00	125,990,560,000.00	
	SK TELECOM	285,724	207,000.00	59,144,868,000.00	
小計		4,199,178		576,406,765,000.00 (55,046,846,057)	

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
新台幣ドル	NAN YA PLASTICS CORP	19,941,000	66.90	1,334,052,900.00	
	CTBC FINANCIAL HOLDING CO LTD	155,916,837	16.75	2,611,607,019.75	
	ASUSTEK COMPUTER INC	6,553,000	283.50	1,857,775,500.00	
	COMPAL ELECTRONICS	82,705,000	20.15	1,666,505,750.00	
	HON HAI PRECISION INDUSTRY CO LTD	19,427,736	83.00	1,612,502,088.00	
	LITE-ON TECHNOLOGY CORP	33,309,976	38.60	1,285,765,073.60	
	QUANTA COMPUTER INC	15,502,400	56.00	868,134,400.00	
	TAIWAN MOBILE CO LTD	11,549,000	104.50	1,206,870,500.00	
	MEDIATEK INC	9,357,000	241.00	2,255,037,000.00	
	NOVATEK MICROELECTRONICS CORP LTD	10,503,000	125.00	1,312,875,000.00	
	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	37,390,323	158.50	5,926,366,195.50	
小計		402,155,272		21,937,491,426.85 (74,806,845,765)	
インドルピー	COAL INDIA LIMITED	13,812,692	275.25	3,801,943,473.00	
	NMDC LTD	18,755,674	97.85	1,835,242,700.90	
	HOUSING DEVELOPMENT FINANCE CORPORATION	1,887,242	1,103.45	2,082,477,184.90	
小計		34,455,608		7,719,663,358.80 (12,969,034,442)	
合計		2,596,655,688		514,339,264,124	

有価証券明細表注記

- (注) 1. 小計欄の()内は、邦貨換算額であります。
2. 合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係るもので、内書であります。

- (2) 株式以外の有価証券
該当事項はありません。

外貨建有価証券の内訳

種類	銘柄数	組入株式 時価比率	合計金額に 対する比率
米ドル	株式 1銘柄	100.0%	1.9%
オーストラリアドル	株式 15銘柄	100.0%	19.6%
ニュージーランドドル	株式 1銘柄	100.0%	1.0%
香港ドル	株式 22銘柄	100.0%	36.9%
シンガポールドル	株式 4銘柄	100.0%	5.9%
タイバーツ	株式 3銘柄	100.0%	2.0%
フィリピンペソ	株式 1銘柄	100.0%	0.8%
インドネシアルピア	株式 6銘柄	100.0%	4.1%
韓国ウォン	株式 9銘柄	100.0%	10.7%
新台湾ドル	株式 11銘柄	100.0%	14.5%
インドルピー	株式 3銘柄	100.0%	2.5%

2. デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

(2) 注記表(デリバティブ取引等に関する注記)の取引の時価等に関する事項に記載されておきません。

2【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

(平成28年 4月28日現在)

アジア・オセアニア好配当成長株オープン(1年決算型)

資産総額	2,029,873,059円
負債総額	4,354,679円
純資産総額(-)	2,025,518,380円
発行済数量	2,003,748,121口
1単位当たり純資産額(/)	1.0109円

(参考) 日本マネー・マザーファンド

資産総額	749,359,463円
負債総額	991円
純資産総額（ - ）	749,358,472円
発行済数量	734,564,627口
1 単位当たり純資産額（ / ）	1.0201円

（参考）イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）

資産総額	551,096,138,720 円
負債総額	6,196,204,002 円
純資産総額（ - ）	544,899,934,718 円
発行済口数	1,229,366,404,204 口
1 口当たり純資産額（ / ）	0.4432 円

（参考）イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド

資産総額	555,065,108,315 円
負債総額	6,318,528,699 円
純資産総額（ - ）	548,746,579,616 円
発行済口数	304,528,957,060 口
1 口当たり純資産額（ / ）	1.8020 円

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

<更新後>

（平成28年4月末日現在）

(1) 資本金の額	10億円
会社が発行する株式の総数	2,600,000株
発行済株式の総数	825,000株
最近5年間ににおける主な資本金の額の増減	なし

(2) 委託会社の機構

委託会社の意思決定機構

委託会社は、12名以内で構成される取締役会により運営されます。

取締役は、委託会社の株主であることを要しません。

取締役は、株主総会において株主によって選任され、その任期は選任後2年以内に終了する事業年度の内最終のものに関する定時株主総会の終結のときまでとします。

取締役会は、社長1名を選定するほか、会長、副社長、専務取締役、および常務取締役を若干名選任することができます。また、取締役会は取締役の中から代表取締役を若干名選定することができます。

取締役会は、法令に別段の定めがある場合を除き、原則として、社長が招集します。取締役会の議長は、原則として、社長がこれにあたります。

取締役会の決議は、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役の過半数が出席したうえで、出席した取締役の過半数をもって決めます。

運用の意思決定機構

運用委員会は、月1回、運用本部で開催する「ストラテジー会議」で策定された投資環境分析と運用の基本方針案に基づいて検討を行い、運用の基本方針を決定します。

また、運用に関する内規の制定及び改廃のほか、運用ガイドライン等運用のリスク管理に関する事項を決定します。

運用戦略会議は、月1回、運用各部署より運用委員会で決定された運用の基本方針に基づいた個別ファンドの具体的な投資戦略が報告され、その内容について検討を行います。

ファンドマネージャーは、運用戦略会議で検討された投資戦略に基づき、ファンド毎に具体的な運用計画を策定し、運用計画書・運用実施計画に基づいて、運用の指図を行います。

投資情報部は、国内外のマクロ経済・セミマクロ経済の調査・分析、市場環境の分析等をもとに、ファンドマネージャーに情報提供を行うことで、運用をサポートします。また、投資者に経済情勢等に関するタイムリーな情報を発信します。

運用分析会議は、月1回、運用のパフォーマンス向上、運用の適正性の確保、および運用のリスク管理に資することを目的に、個別ファンドの運用パフォーマンスを分析・検証・評価し、運用本部にフィードバックを行います。

売買分析会議は、月1回、運用財産に係る運用の適切性確保に資することを目的にファンドの有価証券売買状況や組入れ状況など、日々、リスク管理部、トレーディング部が行っている運用の指図に関するチェック状況の報告・指摘を行います。議長は会議の結果を取締役会へ報告します。

2【事業の内容及び営業の概況】

< 更新後 >

当社は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社として証券投資信託の設定を行うとともに、「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者として、その運用（投資運用業）及びその受益権の募集又は私募（第二種金融商品取引業）を行っています。また、「金融商品取引法」に定める投資一任契約にかかる投資運用業、投資助言・代理業を行っています。

平成28年4月末日現在、委託会社の運用する証券投資信託は以下の通りです。（親投資信託を除く。）

種類	本数（本）	純資産総額(億円)
追加型株式投資信託	166	12,428
追加型公社債投資信託	16	1,982
単位型株式投資信託	46	1,666
単位型公社債投資信託	1	16
合計	229	16,094

純資産総額について、億円未満を切り捨てているため、合計と合わない場合があります。

3【委託会社等の経理状況】

< 更新後 >

(1) 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）により作成しております。

財務諸表の金額については、千円未満の端数を切り捨てて記載しております。

(2) 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当事業年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の財務諸表について、東陽監査法人の監査を受けております。

(1)【貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日現在)	当事業年度 (平成28年3月31日現在)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,448,189	10,148,043
有価証券	197,930	1,656
未収委託者報酬	1,279,777	1,128,492
未収運用受託報酬	71,522	11,170
未収投資助言報酬	14,792	14,853
前払費用	49,082	43,517
未収収益	59,173	55,508
繰延税金資産	138,311	36,754
その他の流動資産	439	3,690
流動資産合計	13,259,219	11,443,688

固定資産				
有形固定資産				
建物	1	23,858	1	21,718
器具備品	1	103,641	1	95,958
有形固定資産合計		127,500		117,676
無形固定資産				
ソフトウェア		10,941		12,998
電話加入権		2,122		2,122
無形固定資産合計		13,064		15,120
投資その他の資産				
投資有価証券		1,630,952		4,475,313
親会社株式		1,764,840		1,086,624
長期差入保証金		115,054		108,160
前払年金費用		50,196		60,702
その他		26,705		26,705
貸倒引当金		14,510		14,510
投資その他の資産合計		3,573,237		5,742,995
固定資産合計		3,713,801		5,875,793
資産合計		16,973,020		17,319,481

	前事業年度 (平成27年3月31日現在)	当事業年度 (平成28年3月31日現在)
負債の部		
流動負債		
預り金	7,237	8,387
未払金	770,025	648,432
未払収益分配金	26	18
未払償還金	3,795	3,795
未払手数料	655,783	573,935
その他未払金	110,421	70,684
未払費用	520,834	221,750
未払法人税等	425,152	472,555
未払消費税等	217,522	86,980
賞与引当金	37,574	33,506
流動負債合計	1,978,347	1,471,612
固定負債		
退職給付引当金	218,014	227,735
役員退職慰労引当金	27,100	33,610
繰延税金負債	427,068	93,015
資産除去債務	33,292	33,865
固定負債合計	705,475	388,226
負債合計	2,683,823	1,859,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金		
資本準備金	566,500	566,500
資本剰余金合計	566,500	566,500
利益剰余金		

利益準備金	179,830	179,830
その他利益剰余金		
別途積立金	5,718,662	5,718,662
繰越利益剰余金	5,727,608	7,593,462
利益剰余金合計	11,626,100	13,491,954
株主資本合計	13,192,600	15,058,454
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,096,597	401,188
評価・換算差額等合計	1,096,597	401,188
純資産合計	14,289,197	15,459,642
負債・純資産合計	16,973,020	17,319,481

(2) 【損益計算書】

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	13,931,095	16,357,045
運用受託報酬	104,858	26,459
投資助言報酬	34,300	34,356
営業収益合計	14,070,254	16,417,861
営業費用		
支払手数料	7,278,031	8,715,105
広告宣伝費	519,541	273,041
公告費	284	126
受益権管理費	14,118	16,088
調査費	1,686,856	1,653,453
調査費	297,053	338,352
委託調査費	1,389,802	1,315,101
委託計算費	294,726	316,593
営業雑経費	396,503	370,731
通信費	54,072	58,965
印刷費	191,187	242,346
諸経費	136,353	56,093
協会費	9,067	9,396
諸会費	5,823	3,929
営業費用合計	10,190,062	11,345,141
一般管理費		
給料	1,498,963	1,564,193
役員報酬	176,066	152,970
給料・手当	1,290,188	1,407,245
賞与	32,709	3,978
交際費	18,489	22,013
寄付金	40,177	38,513
旅費交通費	72,302	64,231
租税公課	28,350	41,794
不動産賃借料	164,107	160,609
賞与引当金繰入	37,574	33,506

退職給付費用	58,095	69,282
役員退職慰労引当金繰入	6,110	7,340
固定資産減価償却費	30,495	34,275
諸経費	355,255	365,842
一般管理費合計	2,309,921	2,401,603
営業利益	1,570,270	2,671,116

	前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)		当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	
営業外収益				
受取配当金	1	79,096	1	74,985
有価証券利息		375		
受取利息		1,496		1,989
約款時効収入		19		10
受取負担金		12,317		24,695
受取保険金		12,000		
雑益		2,103		3,780
営業外収益合計		107,408		105,461
営業外費用				
信託財産負担金		29		17
固定資産除却損	2	93	2	40
為替差損		500		88
雑損				0
営業外費用合計		623		146
経常利益		1,677,055		2,776,431
特別利益				
有価証券売却益				68,676
有価証券償還益				548
投資有価証券売却益		46,700		48,335
投資有価証券償還益				35,073
特別利益合計		46,700		152,633
特別損失				
有価証券売却損				5,395
有価証券償還損				12,957
投資有価証券売却損		13,422		67,629
投資有価証券評価損		58,140		24,083
特別損失合計		71,562		110,066
税引前当期純利益		1,652,192		2,818,998
法人税、住民税及び事業税		670,864		797,633
法人税等調整額		80,396		114,260
法人税等合計		590,468		911,894
当期純利益		1,061,724		1,907,103

(3) 【株主資本等変動計算書】

前事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

（単位：千円）

	株主資本							評価・換算差額等		純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計		
		資本準備金	資本剰 余金合 計		その他利益剰余金	利益剰余金 合計					
当期首残高	1,000,000	566,500	566,500	179,830	5,718,662	4,706,843	10,605,335	12,171,835	860,687	860,687	13,032,522
会計方針の変更 による累積的影響額						290	290	290			290
会計方針の変更を 反映した当期首残 高	1,000,000	566,500	566,500	179,830	5,718,662	4,707,133	10,605,625	12,172,125	860,687	860,687	13,032,813
当期変動額											
剰余金の配当						41,250	41,250	41,250			41,250
当期純利益						1,061,724	1,061,724	1,061,724			1,061,724
株主資本以外の 項目の事業年度 中の変動額（純 額）									235,909	235,909	235,909
当期変動額合計						1,020,474	1,020,474	1,020,474	235,909	235,909	1,256,384
当期末残高	1,000,000	566,500	566,500	179,830	5,718,662	5,727,608	11,626,100	13,192,600	1,096,597	1,096,597	14,289,197

当事業年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本							評価・換算差額等		純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計		
		資本準備金	資本剰 余金合 計		その他利益剰余金	利益剰余金 合計					
当期首残高	1,000,000	566,500	566,500	179,830	5,718,662	5,727,608	11,626,100	13,192,600	1,096,597	1,096,597	14,289,197
当期変動額											
剰余金の配当						41,250	41,250	41,250			41,250
当期純利益						1,907,103	1,907,103	1,907,103			1,907,103
株主資本以外の 項目の事業年度 中の変動額（純 額）									695,409	695,409	695,409
当期変動額合計						1,865,853	1,865,853	1,865,853	695,409	695,409	1,170,444
当期末残高	1,000,000	566,500	566,500	179,830	5,718,662	7,593,462	13,491,954	15,058,454	401,188	401,188	15,459,642

[注記事項]

（重要な会計方針）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は総平均法により算定）

時価のないもの

総平均法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法により償却しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物 8～18年

器具備品 4～15年

(2) 無形固定資産

定額法により償却しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法により償却しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、当社所定の計算方法による支給見込額を計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異の費用処理方法

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生翌事業年度から費用処理しております。

(4) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、当社内規に基づく期末要支給見積額を計上しております。

4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

5. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(貸借対照表関係)

1有形固定資産の減価償却累計額

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
建物	59,482千円	63,927千円
器具備品	142,476 "	162,599 "
計	201,959 "	226,526 "

(損益計算書関係)

1各科目に含まれている関係会社に対するものは、次のとおりであります。

	前事業年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	当事業年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
--	--------------------------------------	--------------------------------------

受取配当金	57,670千円	55,470千円
-------	----------	----------

2固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。

	前事業年度	当事業年度
	(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
器具備品	93千円	40千円

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

1.発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式(株)	825,000			825,000

2.剰余金の配当に関する事項

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成26年6月24日 定時株主総会	普通株式	41,250	50	平成26年3月31日	平成26年6月25日

3.基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の種類	配当金の 総額(千円)	配当金の 原資	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成27年6月24日 定時株主総会	普通株式	41,250	利益剰余金	50	平成27年3月31日	平成27年6月25日

当事業年度(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)

1.発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式(株)	825,000			825,000

2.剰余金の配当に関する事項

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成27年6月24日 定時株主総会	普通株式	41,250	50	平成27年3月31日	平成27年6月25日

3.基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の種類	配当金の 総額(千円)	配当金の 原資	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成28年6月27日 定時株主総会	普通株式	41,250	利益剰余金	50	平成28年3月31日	平成28年6月28日

（金融商品関係）

1. 金融商品の状況に関する事項

（1）金融商品に対する取組方針

当社は、金融商品取引法に定める投資運用業、投資助言・代理業及び第二種金融商品取引業を営んでおります。これらの事業を当社では、自己資金で行っております。

一方、資金運用については、短期的な預金及び債券、投資有価証券での運用を行っております。なお、デリバティブ取引は行っていません。

（2）金融商品の内容及びそのリスク

当社が保有する主な金融資産は現金及び預金、有価証券、未収委託者報酬、投資有価証券及び親会社株式であります。

預金は預入先金融機関の信用リスクに晒されております。また有価証券、投資有価証券及び親会社株式は発行体の信用リスクやマーケットリスク等に晒されております。また、未収委託者報酬は投資信託財産中から当社（委託者）が得られる報酬であり、未収であるものであります。

金融負債の主なものは、未払金（未払手数料）、未払法人税等であります。未払金（未払手数料）は委託者報酬中から当社が販売会社に支払うべき手数料であり、未払いのものであります。

（3）金融商品に係るリスク管理体制

当社は経営の健全化及び経営資源の効率化を目的として、リスク管理体制の強化を図り、適切なリスク・コントロールに努めております。金融資産に関わる信用リスク、マーケットリスク等を管理するため、社内規程等に従い、ポジション枠や与信枠等の適切な管理に努めております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません（（注2）参照）。

前事業年度（平成27年3月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金及び預金	11,448,189	11,448,189	
(2)有価証券	197,930	197,930	
(3)未収委託者報酬	1,279,777	1,279,777	
(4)投資有価証券	1,049,952	1,049,952	
(5)親会社株式	1,764,840	1,764,840	
(6)未払金（未払手数料）	655,783	655,783	
(7)未払法人税等	425,152	425,152	

当事業年度（平成28年3月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金及び預金	10,148,043	10,148,043	
(2)有価証券	1,656	1,656	
(3)未収委託者報酬	1,128,492	1,128,492	
(4)投資有価証券	3,894,313	3,894,313	
(5)親会社株式	1,086,624	1,086,624	
(6)未払金（未払手数料）	573,935	573,935	
(7)未払法人税等	472,555	472,555	

(注1) 金融商品の時価の算定方法

(1) 現金及び預金、(3) 未収委託者報酬、(6) 未払金（未払手数料）、(7) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 有価証券、(4) 投資有価証券、(5) 親会社株式

これらの時価について、上場株式は取引所の価格、債券は取引所の価格又は日本証券業協会が公表する価格等、投資信託は公表されている基準価額等によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項「有価証券関係」をご参照下さい。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品の貸借対照表計上額

(単位：千円)

区分	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
非上場株式	581,000	581,000

非上場株式については、市場価額がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4) 投資有価証券」には含めておりません。

(注3) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度（平成27年3月31日）

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	11,448,189			
未収委託者報酬	1,279,777			
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
その他	197,930	474,917	146,462	
合計	12,925,897	474,917	146,462	

当事業年度（平成28年3月31日）

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	10,148,043			
未収委託者報酬	1,128,492			
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
その他	1,656	3,506,735	86,377	
合計	11,278,193	3,506,735	86,377	

(有価証券関係)

1. その他有価証券

前事業年度（平成27年3月31日）

(単位：千円)

区分	種類	貸借対照表 計上額	取得原価	差額			
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	(1) 株式	2,136,886	618,311	1,518,574			
	(2) 債券 国債・地方債等 社債 その他						
	(3) その他				686,948	503,598	183,349
	小計				2,823,834	1,121,910	1,701,923
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	(1) 株式	188,887	328,500	139,612			
	(2) 債券 国債・地方債等 社債 その他						
	(3) その他				188,887	328,500	139,612
	小計				188,887	328,500	139,612
合計		3,012,722	1,450,410	1,562,311			

(注) 非上場株式(貸借対照表計上額 581,000千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

当事業年度(平成28年3月31日)

(単位:千円)

区分	種類	貸借対照表 計上額	取得原価	差額			
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	(1) 株式	1,350,656	605,961	744,694			
	(2) 債券 国債・地方債等 社債 その他						
	(3) その他				182,820	156,000	26,820
	小計				1,533,476	761,961	771,515
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	(1) 株式	10,140	12,350	2,210			
	(2) 債券 国債・地方債等 社債 その他						
	(3) その他				3,438,976	3,629,995	191,018
	小計				3,449,116	3,642,345	193,228
合計		4,982,593	4,404,307	578,286			

(注)非上場株式(貸借対照表計上額 581,000千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

2. 事業年度中に売却したその他有価証券

前事業年度(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

(単位:千円)

種類	売却額	売却益の 合計額	売却損の 合計額
(1) 株式			
(2) 債券 国債・地方債等 社債 その他			
(3) その他	369,277	46,700	13,422
合計	369,277	46,700	13,422

当事業年度(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)

(単位:千円)

種類	売却額	売却益の 合計額	売却損の 合計額
(1) 株式			
(2) 債券 国債・地方債等 社債 その他			
(3) その他	609,484	117,011	73,025
合計	609,484	117,011	73,025

3. 減損処理を行った有価証券

前事業年度(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

有価証券について58,140千円(その他有価証券のその他58,140千円)減損処理を行っておりません。

当事業年度(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)

有価証券について24,083千円(その他有価証券のその他24,083千円)減損処理を行っておりません。

時価のある株式等については、決算日の時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合には、原則として減損処理を行い、30%以上50%未満下落した場合には、回復可能性があるとして認められるものを除き、減損処理を行っております。

(デリバティブ取引関係)

当社は、デリバティブ取引を利用していないため該当事項はありません。

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社の退職給付制度は、確定拠出年金制度(証券総合型DC岡三プラン)、確定給付企業年金制度及び

退職一時金制度から構成されております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

(単位：千円)

	前事業年度	当事業年度
	(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
退職給付債務の期首残高	449,398	481,968
会計方針の変更による累積的影響額	450	
会計方針の変更を反映した期首残高	448,948	481,968
勤務費用	43,495	47,703
利息費用	2,918	1,976
数理計算上の差異の発生額	11,930	10,297
退職給付の支払額	25,323	30,258
退職給付債務の期末残高	481,968	511,687

(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

(単位：千円)

	前事業年度	当事業年度
	(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
年金資産の期首残高	236,284	284,842
期待運用収益	1,181	1,424
数理計算上の差異の発生額	12,109	32,888
事業主からの拠出額	72,675	33,038
退職給付の支払額	13,189	7,647
年金資産の期末残高	284,842	278,768

(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

(単位：千円)

	前事業年度	当事業年度
	(平成27年3月31日)	(平成28年3月31日)
積立型制度の退職給付債務	240,900	253,108
年金資産	284,842	278,768
	43,941	25,659
非積立型制度の退職給付債務	241,067	258,578
未積立退職給付債務	197,126	232,918
未認識数理計算上の差異	29,307	65,885
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	167,818	167,032
退職給付引当金	218,014	227,735
前払年金費用	50,196	60,702
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	167,818	167,032

(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

(単位：千円)

	前事業年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	当事業年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
勤務費用	43,495	47,703
利息費用	2,918	1,976
期待運用収益	1,181	1,424
数理計算上の差異の費用処理額	545	6,607
確定給付制度に係る退職給付費用	44,686	54,863

(5) 年金資産に関する事項

年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
株式	43.3%	34.5%
一般勘定	32.4%	33.8%
債券	22.0%	19.0%
その他	2.3%	12.7%
合計	100.0%	100.0%

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率は、保有する年金資産のポートフォリオ、過去の運用実績、運用方針、及び市場の動向等を考慮し設定しております。

(6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

主要な数理計算上の計算基礎(加重平均で表わしております。)

	前事業年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	当事業年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
割引率	0.41%	0.00%
長期期待運用収益率	0.50%	0.50%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度13,409千円、当事業年度14,418千円であります。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
繰延税金資産		
退職給付引当金	70,418 千円	69,732 千円
役員退職慰労引当金	8,753 "	10,291 "
賞与引当金	12,436 "	10,339 "
ゴルフ会員権評価損	1,939 "	1,838 "
貸倒引当金	4,686 "	4,442 "
その他有価証券評価差額金	26,315 "	59,167 "
投資有価証券評価損	21,952 "	9,998 "

未払広告宣伝費	79,877	〃	7,681	〃
資産除去債務	10,753	〃	10,369	〃
未払事業税	32,388	〃	32,596	〃
その他	32,865	〃	3,508	〃
繰延税金資産の合計	302,388	〃	219,967	〃
繰延税金負債				
その他有価証券評価差額金	550,170	〃	236,266	〃
未収配当金	19,533	〃	17,090	〃
資産除去債務	5,228	〃	4,285	〃
前払年金費用	16,213		18,587	〃
繰延税金負債の合計	591,145	〃	276,228	〃
繰延税金資産(負債)の純額	288,756	〃	56,261	〃

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。	法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成28年法律第15号）及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」（平成28年法律第13号）が平成28年3月29日に国会で成立し、平成28年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、前事業年度の計算において使用した32.30%から平成28年4月1日に開始する事業年度及び平成29年4月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については30.86%に、平成30年4月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については30.62%となります。

この税率変更により、繰延税金負債の金額（繰延税金資産の金額を控除した金額）が3,409千円減少し、法人税等調整額が6,278千円、その他有価証券評価差額金が9,687千円、それぞれ増加しております。

(資産除去債務関係)

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

1. 当該資産除去債務の概要

本店の建物の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務等であります。

2. 当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を取得から15年～31年と見積り、割引率は1.404%～2.290%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

3. 当該資産除去債務の総額の増減

	前事業年度 (自平成26年4月 1日 至平成27年3 月31日)	当事業年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
期首残高	32,728 千円	33,292 千円

時の経過による調整額	563	〃	573	〃
期末残高	33,292	千円	33,865	千円

（セグメント情報等）

1.セグメント情報

（1）報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社は「投資信託部門」及び「投資顧問部門」ごとに、経営戦略を立案・決定し、経営資源の配分及び業績の評価を行っております。

なお、「投資顧問部門」のセグメントの売上高、利益又は損失の金額及び資産の額がいずれも事業セグメントの合計額の10%未満でありますので、報告セグメントは「投資信託部門」のみであります。

報告セグメントである「投資信託部門」では投資信託の運用、商品開発等を行っております。報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

（2）報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

（3）報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度（自平成26年4月1日 至平成27年3月31日）

報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

当事業年度（自平成27年4月1日 至平成28年3月31日）

報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

（4）報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

前事業年度（自平成26年4月1日 至平成27年3月31日）

報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

当事業年度（自平成27年4月1日 至平成28年3月31日）

報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

2.関連情報

前事業年度（自平成26年4月1日 至平成27年3月31日）

(1)製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2)地域ごとの情報

営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

(3)主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

当事業年度（自平成27年4月1日 至平成28年3月31日）

(1)製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2)地域ごとの情報

営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

(3)主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

3.報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

4.報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

該当事項はありません。

5.報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

(関連当事者情報)

1.関連当事者との取引

財務諸表提出会社と関連当事者との取引

前事業年度（自平成26年4月1日 至平成27年3月31日）

財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金 (千円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
同一の親会社を持つ会社	岡三証券株式会社	東京都中央区	5,000,000	証券業	被所有 直接 2.30%	当社ファンドの募集取扱	支払手数料の支払 (注2)	3,739,886 (注1)	未払手数料	269,932 (注1)

(注) 1.上記の取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2.取引条件及び取引条件の決定方針

過去の取引条件及びファンドの商品性を勘案して決定しております。

当事業年度（自平成27年4月1日 至平成28年3月31日）

財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金 (千円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
----	------------	-----	------------------	-----------	--------------------	-----------	-------	--------------	----	--------------

同一の親会社 を持つ会社	岡三証券 株式会社	東京都 中央区	5,000,000	証券業	被所有 直接 2.30%	当社ファン ドの募集取 扱	支払手数料 の支払 (注2)	3,730,087 (注1)	未払 手数 料	216,005 (注1)
-----------------	--------------	------------	-----------	-----	--------------------	---------------------	----------------------	-------------------	---------------	-----------------

(注) 1.上記の取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2.取引条件及び取引条件の決定方針

過去の取引条件及びファンドの商品性を勘案して決定しております。

2.親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1)親会社情報

株式会社岡三証券グループ(東京証券取引所に上場)

(2)重要な関連会社の要約財務情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
1株当たり純資産額	17,320円23銭	18,738円96銭
1株当たり当期純利益金額	1,286円93銭	2,311円64銭

(注) 1.潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2.1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前事業年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	当事業年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
当期純利益金額	1,061,724千円	1,907,103千円
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る当期純利益	1,061,724千円	1,907,103千円
普通株式の期中平均株式数	825,000株	825,000株

3.1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
純資産の部の合計額	14,289,197千円	15,459,642千円
純資産の部から控除する合計額		
普通株式に係る期末の純資産額	14,289,197千円	15,459,642千円
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数	825,000株	825,000株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

<更新後>

(1)「受託会社」

三菱UFJ信託銀行株式会社

資本金の額

平成28年3月末日現在、324,279百万円

事業の内容

銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

(2) 「販売会社」（資本金の額は、平成28年3月末日現在）

名 称	資本金の額（百万円）	事業の内容	
岡三証券株式会社	5,000	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。	
岡三オンライン証券株式会社	1,000		
岡三にいがた証券株式会社	852		
アーク証券株式会社	2,619		
藍澤証券株式会社	8,000		
あかつき証券株式会社	3,067		
阿波証券株式会社	100		
今村証券株式会社	857		
岩井コスモ証券株式会社	13,500		
エイチ・エス証券株式会社	3,000		
株式会社 S B I証券	47,937		
おきなわ証券株式会社	1,128		
香川証券株式会社	555		
寿証券株式会社	305		
株式会社 しん証券さかもと	450		
三縁証券株式会社	150		
静岡東海証券株式会社	600		
大熊本証券株式会社	343		
高木証券株式会社	11,069		
内藤証券株式会社	3,002		
長野証券株式会社	600		
播陽証券株式会社	112		
ひろぎんウツミ屋証券株式会社	6,100		
ふくおか証券株式会社	2,198		
水戸証券株式会社	12,272		
むさし証券株式会社	5,000		
山和証券株式会社	585		
楽天証券株式会社	7,495		
中原証券株式会社	506		
株式会社 イオン銀行	51,250		
株式会社 西京銀行	12,690		
株式会社 佐賀共栄銀行	2,679		
株式会社 静岡中央銀行	2,000		

株式会社 島根銀行	6,636	銀行法に基づき銀行業を営んでいます。
株式会社 仙台銀行	22,485	
株式会社 第三銀行	37,461	
株式会社 大正銀行	2,689	
株式会社 千葉興業銀行	62,120	
株式会社 中京銀行	31,844	
株式会社 東北銀行	13,233	
株式会社 栃木銀行	27,408	
株式会社 富山第一銀行	8,000	
株式会社 東日本銀行	38,300	
株式会社 百十四銀行	37,322	
株式会社 福岡中央銀行	2,500	
株式会社 福島銀行	18,127	
株式会社 福邦銀行	7,300	
株式会社 豊和銀行	12,495	
株式会社 北都銀行	12,500	
株式会社 みちのく銀行	34,167	
株式会社 宮崎太陽銀行	12,252	
株式会社 琉球銀行	54,127	
株式会社 神奈川銀行	5,191	

藍澤證券株式会社は、ファンドの新規の販売は行いません。換金申込の受付、収益分配金の支払いならびに再投資、および換金代金ならびに償還金の支払い等のみ行います。

独立監査人の中間監査報告書

平成28年5月10日

岡三アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員 公認会計士 助川正文 印
業務執行社員指定社員 公認会計士 宝金正典 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている「アジア・オセアニア好配当成長株オープン（1年決算型）」の平成27年10月14日から平成28年4月13日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、「アジア・オセアニア好配当成長株オープン（1年決算型）」の平成28年4月13日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成27年10月14日から平成28年4月13日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

岡三アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

平成28年6月27日

岡三アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員

業務執行社員 公認会計士 鈴木基仁 印

指定社員

業務執行社員 公認会計士 宝金正典 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている岡三アセットマネジメント株式会社の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの第52期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、岡三アセットマネジメント株式会社の平成28年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。